

盤の管理・配線管理・盤図の出力

目次

1. 盤の管理	2
[盤の管理]ダイアログの画面	
盤の分類	
盤のタイプ	
配電盤の設定	
動力盤を分ける	
盤に複数の幹線を接続する	
2. 配線管理	20
[幹線]タブの設定	
[配線]タブの設定	
拾い集計の出力	
3. 盤図の出力	37
[盤の管理]から出力	
[データリンク]から出力	
(参考)表の更新	

更新日：2026/6/8 Rebro2026対応

1. 盤の管理

[盤の管理]コマンドでは、盤と盤を幹線で接続し、盤の親子関係をツリー構造で作成します。分電盤につながる照明器具などの情報を、回路番号を基に入力して盤ごとの管理をすることができます。

また、[盤の管理]で作成した内容を[配線管理]コマンドに反映し、幹線巨長を設定することができます。

更に[盤の管理]-[データリンクの設定を出力]または、[データリンク]コマンドを使用して、盤の種類ごとに盤図として図面に貼り付けることができます。貼り付けた表は、[盤の管理]と連動します。

[盤の管理]ダイアログの画面

盤の分類(p.3参照)

親の幹線の情報

1次側の情報

幹線番号

全体の合計値

盤名称
: 図面に配置した盤
: [盤の管理]で追加した盤

「(数字)」は、盤または、幹線番号ごとの合計値

文字の色が黒色の値は、手入力した値です。

文字の色が緑色の値は、項目タイプ「[キー]」となっている値です。キーの値ごとに情報が表示されます。青色は、図面上の要素などの情報とリンクした値です。(p.5~6参照)

文字の色が緑色の値は、項目タイプ「[キー]」となっている値です。キーの値ごとに情報が表示されます。青色は、図面上の要素などの情報とリンクした値です。(p.5~6参照)

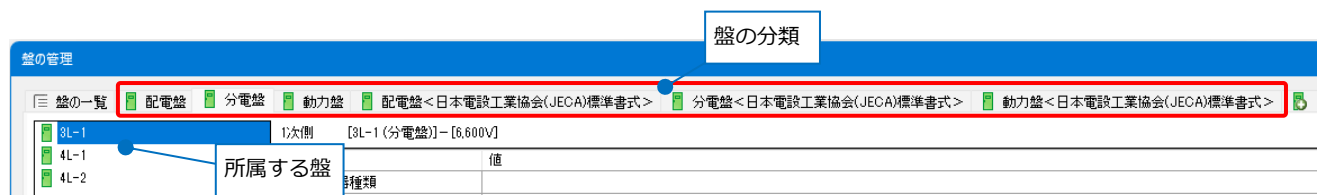
名称 LEDダウンライト

電気特性

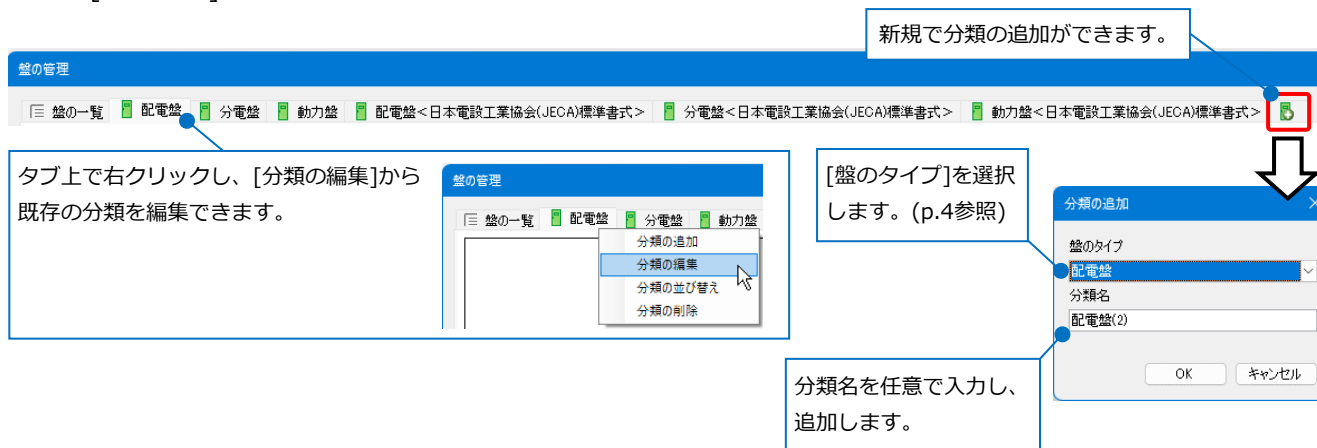
点滅区分	
配線長さ	0 mm
負容量[W]	34
負容量[VA]	34
相	1
電圧[V]	100
運転時の定格電流[A]	242
運転時の最大電流[A]	242
始動方式	電気

盤の分類

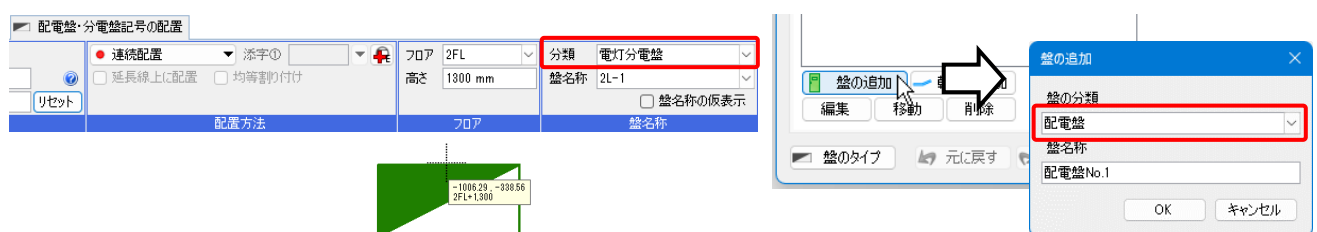
盤には「盤の分類」を設定します。[盤の管理]の分類名のタブを選択すると、所属する盤のリストが表示されます。



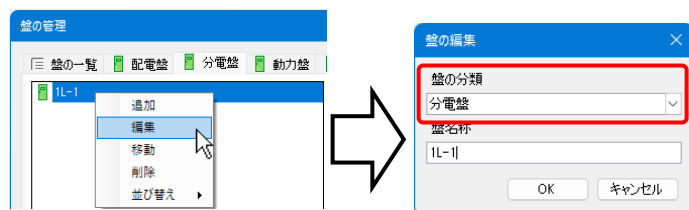
分類は[盤の管理]ダイアログで追加できます。



盤の分類の設定は、図面上に盤を配置する時、もしくは、[盤の管理]ダイアログの[盤の追加]で盤を追加する時に設定します。



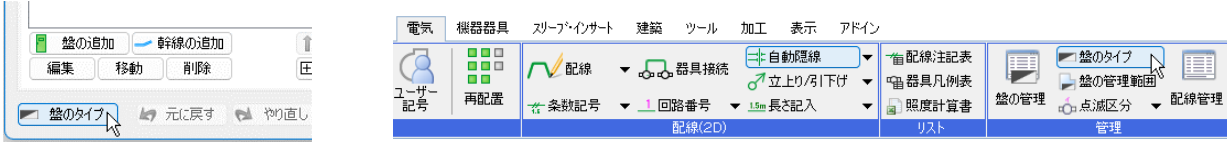
盤に設定した分類は、[盤の管理]ダイアログの盤名称で右クリックし、[編集]から変更できます。



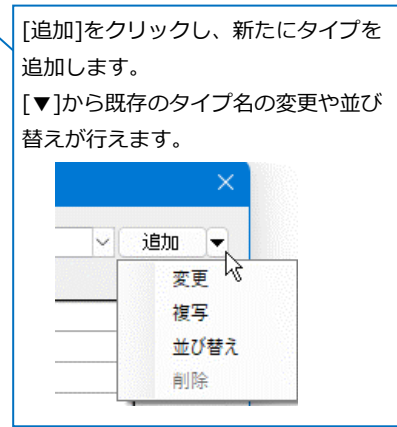
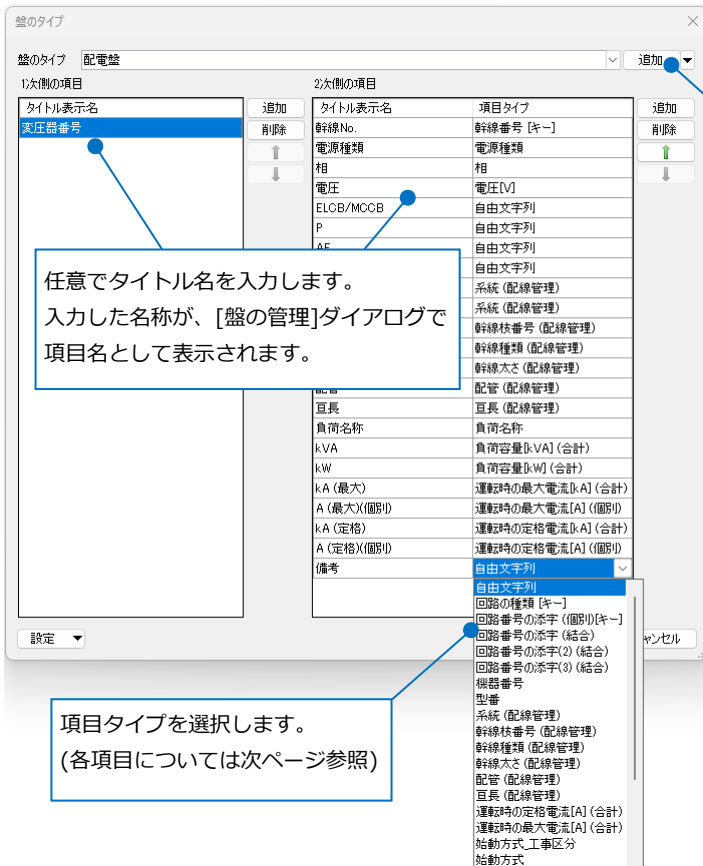
盤のタイプ

「盤の分類」ごとに[盤のタイプ]を設定します。

タイプは、[盤の管理]ダイアログの[盤のタイプ]もしくは、[電気]タブ-[盤のタイプ]で追加、編集することができます。



[盤のタイプ]でタイプごとに盤の情報として必要な項目を設定します。設定した項目が、[盤の管理]ダイアログで盤ごとに表示されます。(p.7 **3** 図参照)

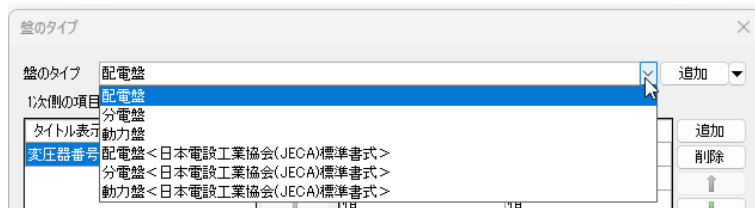


Memo

[設定]-[「図面の初期値」に保存する]で設定した盤のタイプを初期値へ保存することができます。
 [「図面の初期値」から読み込む]で[ホーム]タブ-[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[電気]-[盤のタイプ]から設定を読み込み反映することができます。

● 補足説明

[盤のタイプ]の「～<日本電設工業協会(JECA)標準書式>」は、JECAの書式に合わせて項目を設定したタイプです。



項目タイプ


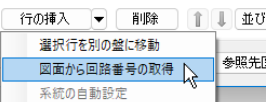
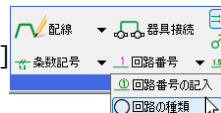
2次側で表示する内容は、項目タイプの一覧から選択します。項目タイプには、値を手入力する項目や、図面上の要素や[配線管理]とリンクし、自動で値を反映する項目などがあります。

キー項目

項目タイプ名の末尾に「[キー]」と記載がある項目ごとに[盤の管理]上で情報がまとまって表示されます。

「幹線番号[キー]」または、「回路番号[キー]」のどちらかを必ず選択します。

「幹線番号[キー]」を選択した場合は、項目タイプ「負荷名称」を選択する必要があります。

項目タイプ	入力する値
幹線番号[キー]	手入力、または[盤の管理]で設定した幹線番号から選択 
回路の種類[キー]	手入力、または[盤の管理]-[行の挿入]横の[▼] -[図面から回路番号の取得]で図面上から自動取得 
回路番号[キー]	※図面上の器具と配線の情報も変更することができます。
回路番号の添字(個別)[キー]	※「回路の種類[キー]」は、[電気]タブ-[回路番号]横の[▼] -[回路の種類]で設定した種類から選択します。 

キー以外の項目：「幹線番号[キー]」を選択した場合

項目タイプ	入力する値
自由文字列	手入力
機器番号	
負荷名称	自動取得、または[盤の管理]上から盤の選択 ※手入力で仮想の盤(p.7参照)を追加できます。
型番	手入力
電源種類	子の盤の1次側の情報から自動取得、または手入力
電圧[V]	※手入力した場合、子の盤の1次側の情報を更新します。
相	(p.12参照)
系統(配線管理)	自動取得、または図形を選択 ※[配線管理]に反映します。
幹線枝番号(配線管理)	手入力または[配線管理]コマンドの[幹線]タブで入力した幹線情報を自動取得(p.20参照)
幹線種類(配線管理)	
幹線太さ(配線管理)	
配管(配線管理)	
巨長(配線管理)	
運転時の定格/最大電流(合計)	自動取得、または手入力
負荷容量(合計)	※手入力で[盤の管理]上の表示用の値に上書きできます。
運転時の定格/最大電流(個別)	入力不可
負荷容量(個別)	
始動方式_工事区分	
始動方式	
台数	

キー以外の項目：「回路番号[キー]」を選択した場合

項目タイプ	入力する値
自由文字列	手入力
回路番号の添字(結合)	指定した回路番号を持つ機器器具から自動取得 ※複数種類の添字が混在する場合、3個以上が連番になっている添字は「～」で結合され、それ以外はカンマ区切りで添字がリストアップされます。
機器番号	自動取得、または手入力 ※手入力で[盤の管理]上の表示用の値に上書きできます。
負荷名称	
型番	
電源種類	入力不可
電圧[V]	自動取得、または手入力 ※手入力した場合、図面上に配置した器具の情報も更新します。
相	※「電圧[V]」は数値のみ入力できます。 ※異なる値が混在する場合は5件まで表示します。
運転時の定格/最大電流(合計)	自動取得(各項目「(個別)」の値を基に計上)、または手入力 ※手入力で[盤の管理]上の表示用の値に上書きできます。
負荷容量(合計)	
運転時の定格/最大電流(個別)	自動取得、または手入力 ※手入力した場合、図面上に配置した器具も変更します。 ※異なる値が混在する場合は5件まで表示します。
負荷容量(個別)	
始動方式_工事区分	
始動方式	自動取得
台数	

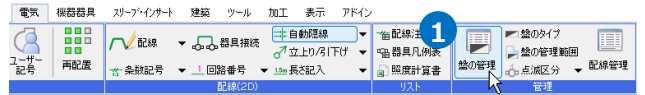
配電盤の設定

配電盤に分電盤を幹線で接続します。

サンプル図面「サンプル事務所(盤の管理).reb」を開きます。ここでは、[盤の管理]を使用し、図面に配置していない仮想の配電盤を設定します。サンプル図面に配置された器具には、回路番号が設定してあります。

仮想の配電盤を追加

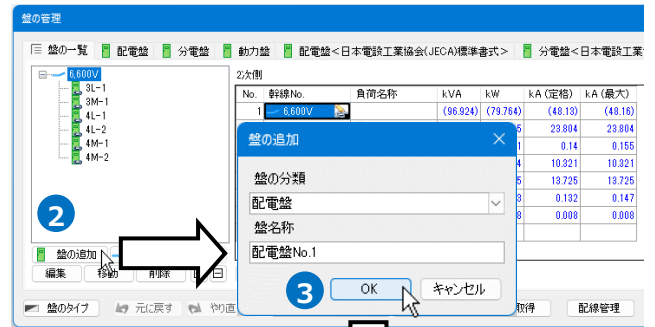
- 1 [電気]タブ-[盤の管理]をクリックします。



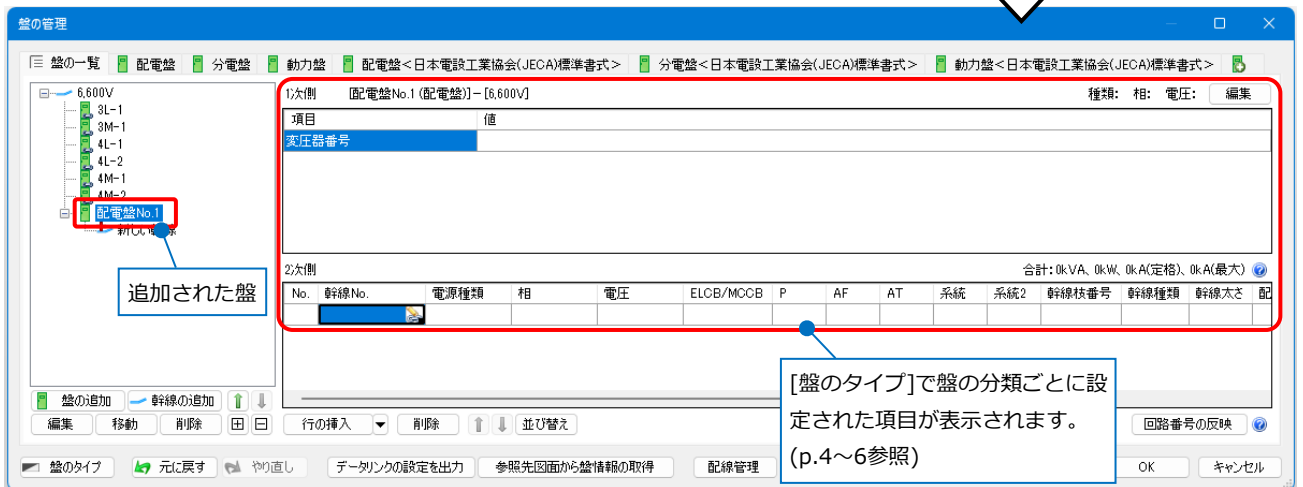
- 2 [盤の追加]をクリックし、盤の分類と盤名称を設定します。

[盤の分類]:「配電盤」

[盤名称]:「配電盤No.1」

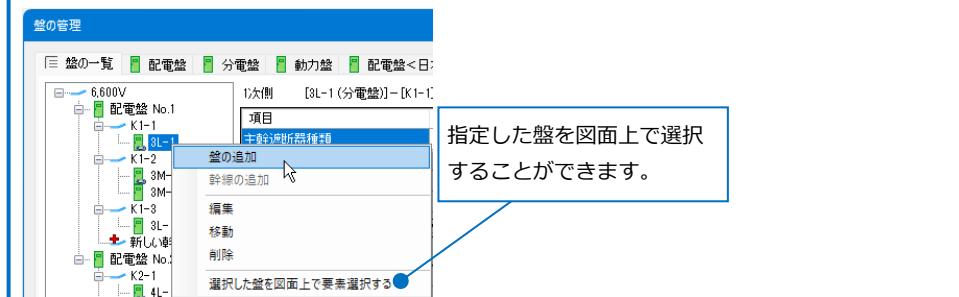


- 3 [OK]をクリックします。
→盤名称が追加されます。



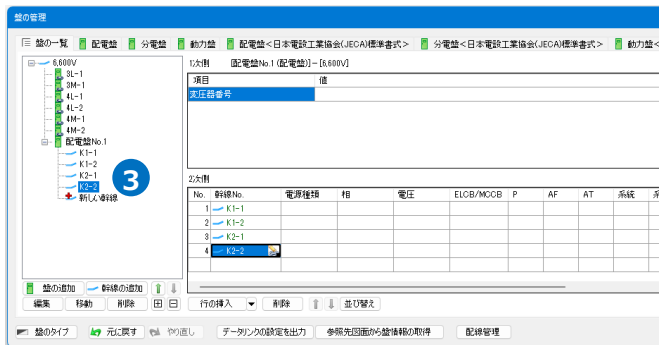
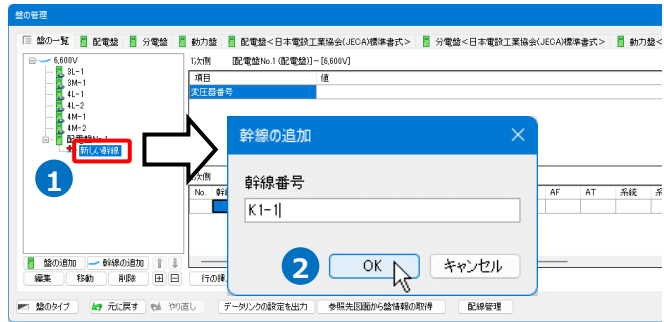
Memo

[盤の一覧]タブで幹線または盤名称の右クリックで、コンテキストメニュー [盤の追加]からも追加できます。



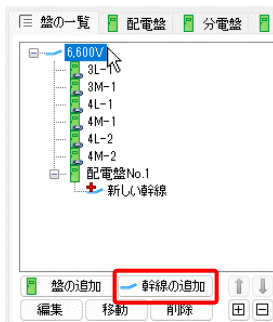
配電盤に幹線を追加

- 1 [盤の一覧]タブの[新しい幹線]をクリックします。
- 2 [幹線の追加]ダイアログで幹線番号「K1-1」を入力し、[OK]をクリックします。
- 3 同様に「K1-2」、「K2-1」、「K2-2」を追加します。



Memo

[幹線の追加]からも幹線番号を追加することができます。選択した幹線番号と同じ階層、もしくは、盤名称の下に新たに幹線番号を追加します。[盤のタイプ]で「幹線番号」の項目タイプを設定している盤に対して幹線番号を追加できます。([盤のタイプ]についてはp.4~6参照)



幹線に図面上の分電盤を接続

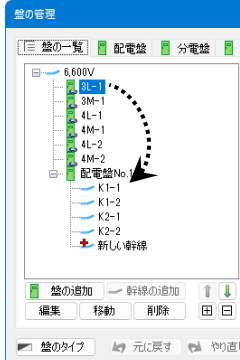
- 1 [盤の一覧]タブでツリーから分電盤の名称「3L-1」を選択し、[移動]をクリックします。



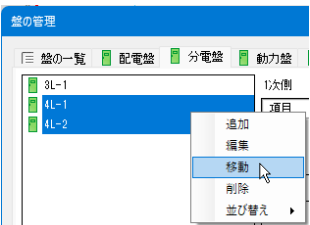
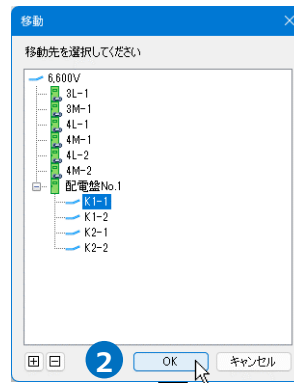
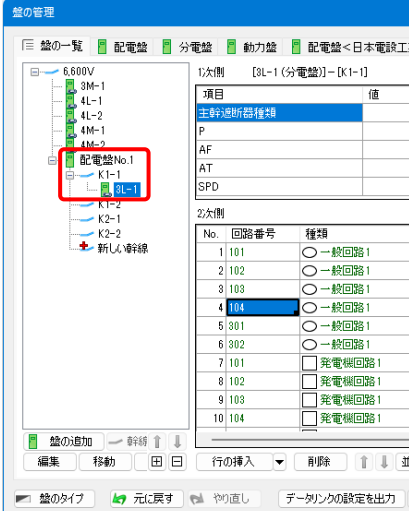
- 2 [移動]ダイアログで幹線番号「K1-1」を選択し、[OK]をクリックします。
→選択した幹線番号の下に分電盤が移動します。

Memo

盤名称を選択し、ドラッグで幹線番号を指定して移動することもできます。



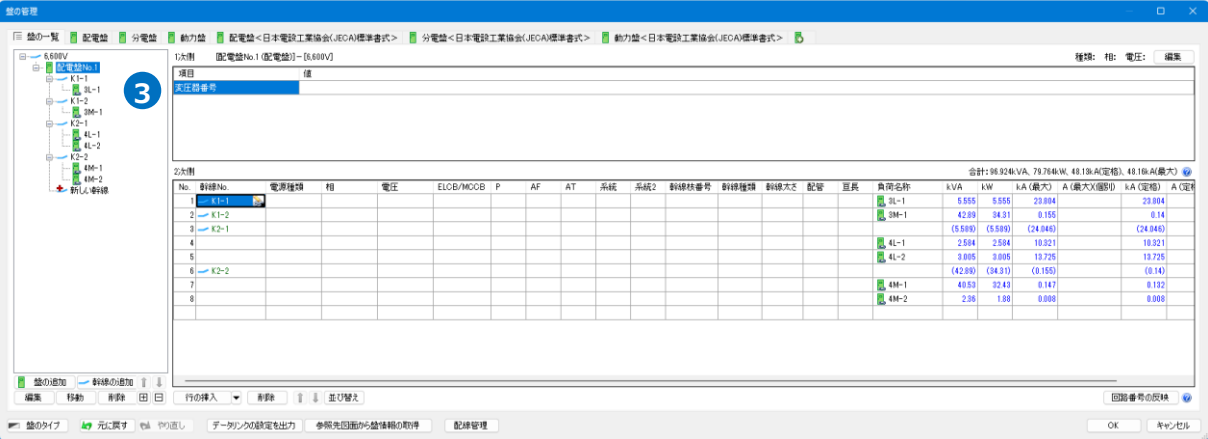
[盤の分類]タブで選択した盤をまとめて移動できます。

1次側		
項目	値	
主幹進捗器種類		
P		
AF		
AT		
SPD		

2次側		
No.	回路番号	種類
1	101	○ 一般回路1
2	102	○ 一般回路1
3	103	○ 一般回路1
4	104	○ 一般回路1
5	301	○ 一般回路1
6	302	○ 一般回路1
7	101	□ 発電機回路1
8	102	□ 発電機回路1
9	103	□ 発電機回路1
10	104	□ 発電機回路1

- 3 同様に各分電盤を移動します。
- 「3M-1」: 幹線番号「K1-2」
「4L-1」、「4L-2」: 幹線番号「K2-1」
「4M-1」、「4M-2」: 幹線番号「K2-2」



No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MOVB	P	AF	AT	系統	系統2	幹線種別	幹線種別	幹線種別	幹線種別	配管	互長	負荷名称	kVA	kW	kA (最大)	A (最大)	A (定格)	A (定格)
1	K1-1																3L-1	5.555	5.555	23.004		23.004	
2	K1-2																3M-1	42.89	34.31	0.155		0.14	
3	K2-1																	(5.589)	(5.589)	(24.045)		(24.045)	
4																	4L-1	2.584	2.584	10.321		10.321	
5																	4L-2	3.005	3.005	12.725		12.725	
6	K2-2																	(42.93)	(34.31)	(0.155)		(0.14)	
7																	4M-1	40.53	32.43	0.147		0.132	
8																	4M-2	2.38	1.88	0.008		0.008	

幹線の情報を編集

- 1 [盤の一覧]タブで「配電盤No.1」をクリックします。

幹線番号ごとの負荷容量の合計を確認できます。

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	系統	系統2	幹線枝番号	幹線種類	幹線次数	配管	互換	負荷名称	KVA	kW	kA (最大)	A (最大) (100%)	kA (定格)	A (定格)
1	K1-1	AC	1φ3W	210/105V	MCCB	3	100	50									5.555	5.555	29.804		29.804	
2	K1-2																42.893	34.931	0.155		0.14	
3	K2-1																53.500	43.600	0.160		0.14	
4																	2.564	2.564	10.321		10.321	
5																	3.005	3.005	13.725		13.725	
6	K2-2																43.893	34.931	0.155		0.14	
7																	40.531	32.433	0.147		0.132	
8																	2.36	1.88	0.008		0.008	

- 2 [電源種類][相][電圧][ELCB/MCCB][P][AF][AT]に値を入力します。該当のセルをクリックし、プルダウンから選択または手入力します。

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT
1	K1-1	AC	1φ3W	210/105V	MCCB	3	100	50
2	K1-2							
3	K2-1							
4								
5								
6	K2-2							
7								
8								

- 3 [系統][系統2]で、幹線と分電盤、動力盤のつながりを図形で表示します。
[行の挿入] 横の[▼]- [系統の自動設定]をクリックします。

系統 系統2

- 4 行を追加する場合は、[行の挿入]をクリックし、追加したい行数を指定します。
→選択している行の上に指定した行数分の空行が追加されます。

クリック

行の挿入

追加する行数 1

OK キャンセル

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	系統	系統2
1	K1-1	AC	1φ3W	210/105V	MCCB	3	100	50		
2										
3	K1-2									
4	K2-1									
5										
6										
7	K2-2									
8										
9										

5 他の幹線も同様に設定します。

2次側 合計: 96.924kVA, 79.764kW, 48.13A

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	系統	系統2	幹線枝番号	幹線種類	幹線太さ	配管	互長	負荷名称	kVA	kW	kA (最大)
1	K1-1	AC	1φ 3W	210/105V	MCCB	3	100	50								3L-1	5.555	5.555	23.804
2																			
3	K1-2	AC	3φ 3W	200V	MCCB	3	100	50								3M-1	42.89	34.31	0.155
4																			
5	K2-1	AC	1φ 3W	210/105V	MCCB	3	100	50									(5.589)	(5.589)	(24.046)
6																	2.584	2.584	10.321
7																	3.005	3.005	13.725
8																			
9	K2-2	AC	3φ 3W	200V	MCCB	3	600	600									(42.89)	(34.31)	(0.155)
10																	40.53	32.43	0.147
11																	2.36	1.88	0.008

● 補足説明

[系統の自動設定]と[行の挿入]はコンテキストメニューからも行えます。

行や系統のセルを指定してコンテキストメニューから[系統の自動設定]を行うと、指定した行や系統のセルにのみ図形が表示されます。[行の挿入]は選択した行の上に新しい行を挿入します。

2次側 合計

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	系統	系統2	幹線枝番号	幹線
1	K1-1	AC	1φ 3W	210/105V	MCCB	3	100	50				
2	K1-2	AC	3φ 3W	200V	MCCB	3	100	50				
3	K2-1	AC	1φ 3W	210/105V	MCCB	3	100					
4												
5												
6	K2-2	AC	3φ 3W	200V	MCCB	3	600					
7												
8												

コピー Ctrl+C

貼り付け Ctrl+V

行の挿入

削除 Del

選択行を別の盤に移動

選択した盤を図面上で要素選択する

系統の自動設定

幹線と盤を1行に結合

幹線と盤を2行に分離

1つの幹線に1つの盤を追加した場合は幹線と盤が1行で表示され、複数の盤を追加した場合は幹線と盤の行が分かれて表示されます。

幹線と盤が表示されている1行、または2行を選択してコンテキストメニューより[幹線と盤を1行に結合][幹線と盤を2行に分離]で、行の結合や分離が行えます。

2次側 合計: 96.924kVA, 79.764kW, 48.13kA(定格), 48.16kA(最大)

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	系統	系統2	幹線枝番号	幹線種類	幹線太さ	配管	互長	負荷名称
1	K1-1	AC	1φ 3W	210/105V	MCCB	3	100	50								3L-1
2																
3	K1-2	AC	3φ 3W	200V	MCCB	3	100	50								3M-1
4																3M-2
5																
6	K2-1	AC	1φ 3W	210/105V	MCCB	3	100	50								4L-1
7																4L-2
8																
9																
10																
11	K2-2	AC	3φ 3W	200V	MCCB	3	600	600								

2行に分離させたい1行を選択

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	系統	系統2	幹線枝番号	幹線種類	幹線太さ	配管	互長	負荷名称
1	K1-1	AC	1φ 3W	210/105V	MCCB	3	100	50								3L-1
2																
3	K1-2	AC	3φ 3W	200V	MCCB	3	100	50								

必要に応じて系統を再度設定します。

● 補足説明

1次側で盤の1次側情報を設定できます。

1次側 配電盤 No.1 (配電盤)- [6,600V] 種類: AC 相: 3φ 3W 電圧: 6,600V 編集

項目	値
変圧器番号	TR1

「盤のタイプ」で設定した項目名が表示されます(p.4参照)。

[編集]から[電源種類][相][電圧]を設定します。値は手入力で設定できます。

種類・相・電圧の編集

種類	AC
相	3φ 3W
電圧	6,600V

OK キャンセル

分電盤、動力盤の1次側[電源種類][相][電圧]は親の配電盤の2次側の項目とリンクしているため、入力した値が相互に連動します。

6,600V

- 配電盤 No.1
- 3L-1
- K1-1
- K1-2
- 3M-1
- K2-1
- 4L-1
- 4L-2
- K2-2
- 4M-1
- 4M-2
- 新入心導線

1次側 配電盤 No.1 (配電盤)- [6,600V] 種類: AC 相: 3φ 3W 電圧: 6600 編集

項目	値
変圧器番号	

2次側 合計: 96.924kVA, 79.764kW, 48.13kA(定格), 48.16kA(最大)

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	SPD	系統	系統2	幹線枝番号	幹線種類	幹線太さ	配管	巨長	負荷名称
1	K1-1	AC	1φ 3W	210/105V	MCCB	3	100										3L-1

相互に連動

6,600V

- 配電盤 No.1
- 3L-1
- K1-1
- K1-2
- 3M-1
- K2-1
- 4L-1
- 4L-2
- K2-2

1次側 [3L-1 (分電盤)]- [K1-1] 種類: AC 相: 1φ 3W 電圧: 210/105V 編集

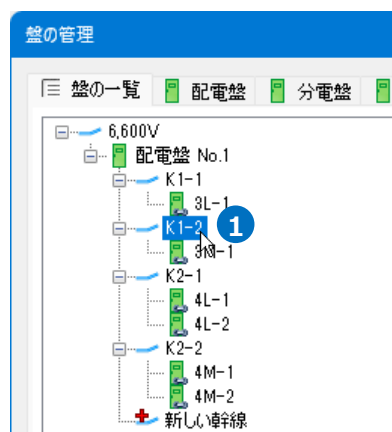
項目	値
主幹遮断器種類	MCCB
P	3
AF	100
AT	50
SPD	あり

動力盤を分ける

動力盤に設定している一部の回路を別の盤に移動します。ここでは、図面上にない仮想の動力盤を作成して移動します。

仮想の動力盤を追加

- 1 [盤の一覧]タブで幹線番号「K1-2」をクリックします。



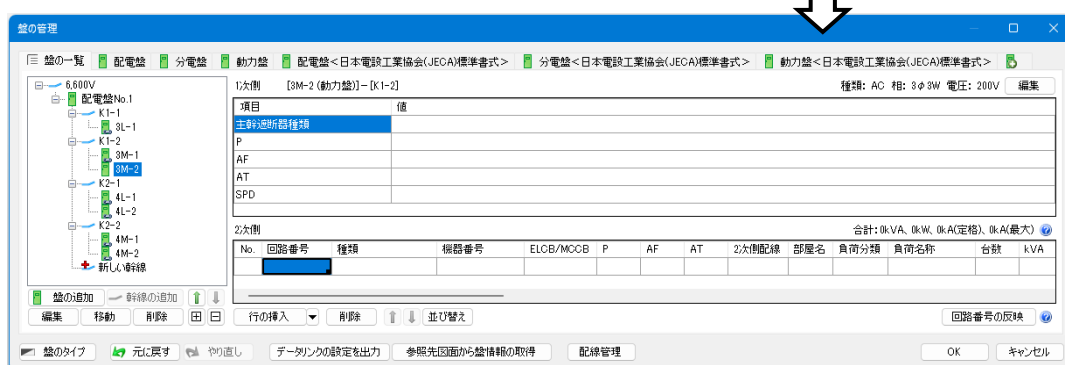
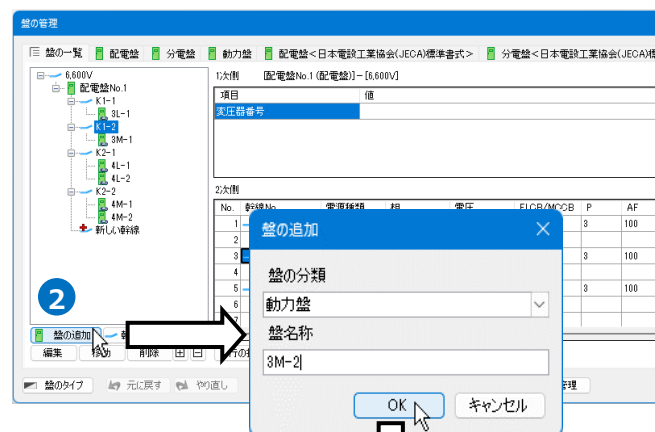
- 2 [盤の追加]をクリックし、[盤の追加]ダイアログより分類と名称を入力します。

[盤の分類]: 「動力盤」

[盤名称]: 「3M-2」

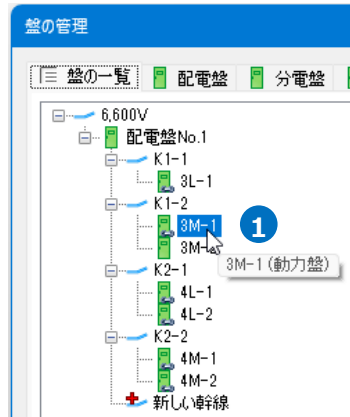
入力後[OK]をクリックします。

→幹線番号「K1-2」の下に動力盤が追加されます。

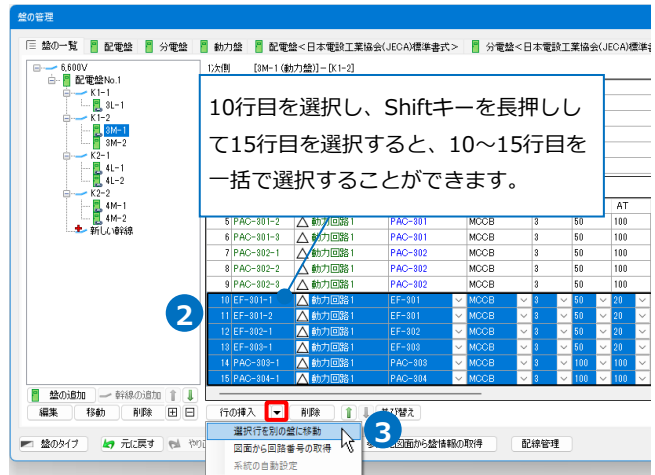


回路の移動

- 1 [盤の一覧]タブで盤名称「3M-1」をクリックします。



- 2 回路番号「EF-301-1」～「PAC-304-1」(10～15行目)を選択します



- 3 [行の挿入]横の[▼]-[選択行を別の盤に移動]をクリックします。

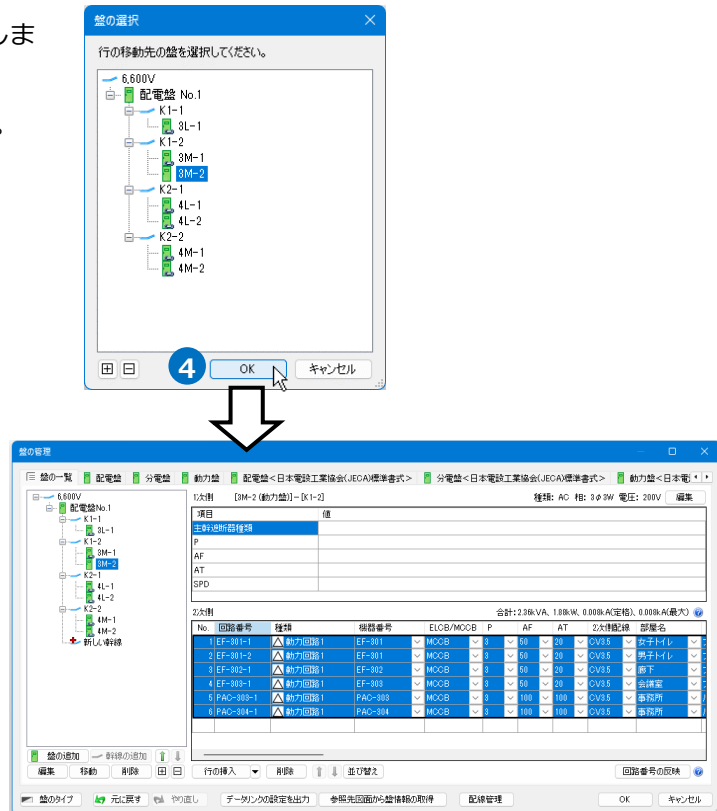
- 4 [盤の選択]ダイアログで移動先の盤を指定します。
「3M-2」を選択し、[OK]をクリックします。
→選択した回路が移動します。

Memo

行の上で右クリックし、コンテキストメニューから[選択行を別の盤に移動]もできます。

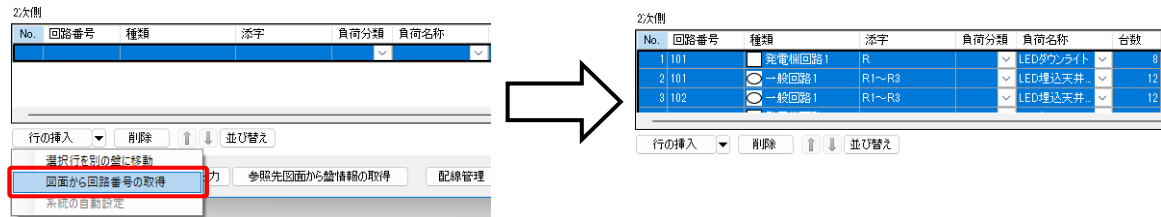
9	PAC-302-3	△ 動力回路1	PAC-302	MCC
10	EF-301-1			
11	EF-301-2			
12	EF-302-1			
13	EF-303-1			
14	PAC-303-1			
15	PAC-304-1			

行の挿入 ▼

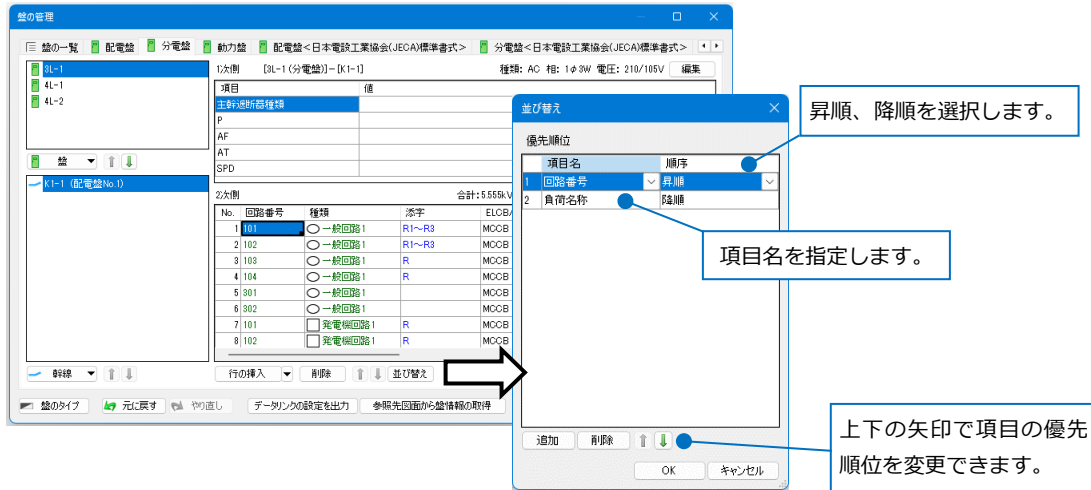


● 補足説明

[行の挿入]横の[▼]-[図面から回路番号の取得]で、図面上の機器に設定した回路番号を取得できます。



[並び替え]で盤表の行を指定した条件で並び替えることができます。



回路番号が昇順の場合

項目名	順序
回路番号	昇順

No.	回路番号	種類	負荷名称	台数
1	101	一般回路1	LED埋込天井灯	12
2	102	一般回路1	LED埋込天井灯	12
3	103	一般回路1	LED埋込天井灯	6
4	104	一般回路1	LEDダウンライト	7
5	105	充電機回路1	LED埋込天井灯	6
6	106	充電機回路1	LEDダウンライト	3
7	107	充電機回路1	LEDダウンライト	7

回路番号が降順の場合

項目名	順序
回路番号	降順

No.	回路番号	種類	負荷名称	台数
1	107	充電機回路1	LEDダウンライト	7
2	106	充電機回路1	LEDダウンライト	3
3	105	充電機回路1	LED埋込天井灯	6
4	104	一般回路1	LEDダウンライト	7
5	103	一般回路1		
6	102	一般回路1		
7	101	一般回路1		

盤に複数の幹線を接続する

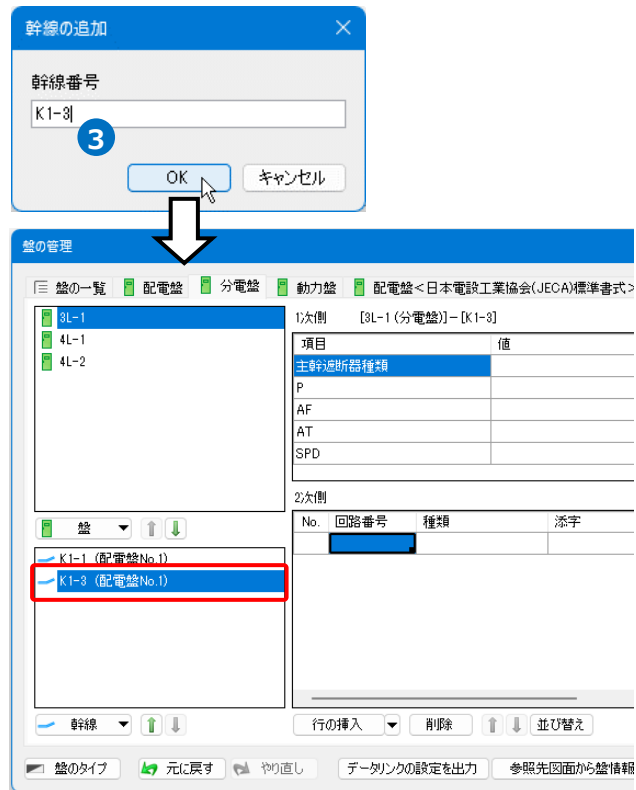
分電盤を2つの幹線に分けて接続します。ここでは、「3L-1」の分電盤に「K1-3」の幹線を追加し、回路を分けます。

幹線を追加

- [分電盤]タブをクリックし、盤名称「3L-1」を選択します。
- [幹線]-[追加]をクリックします。

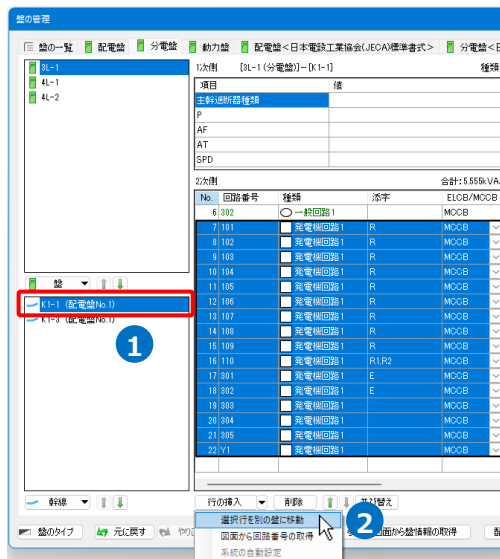


- 3 [幹線の追加]ダイアログで幹線番号を入力し、[OK]をクリックします。
→「3L-1」の盤に幹線番号が追加されます。

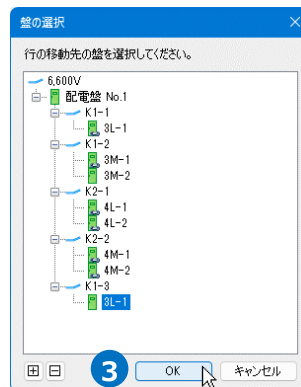


回路の移動

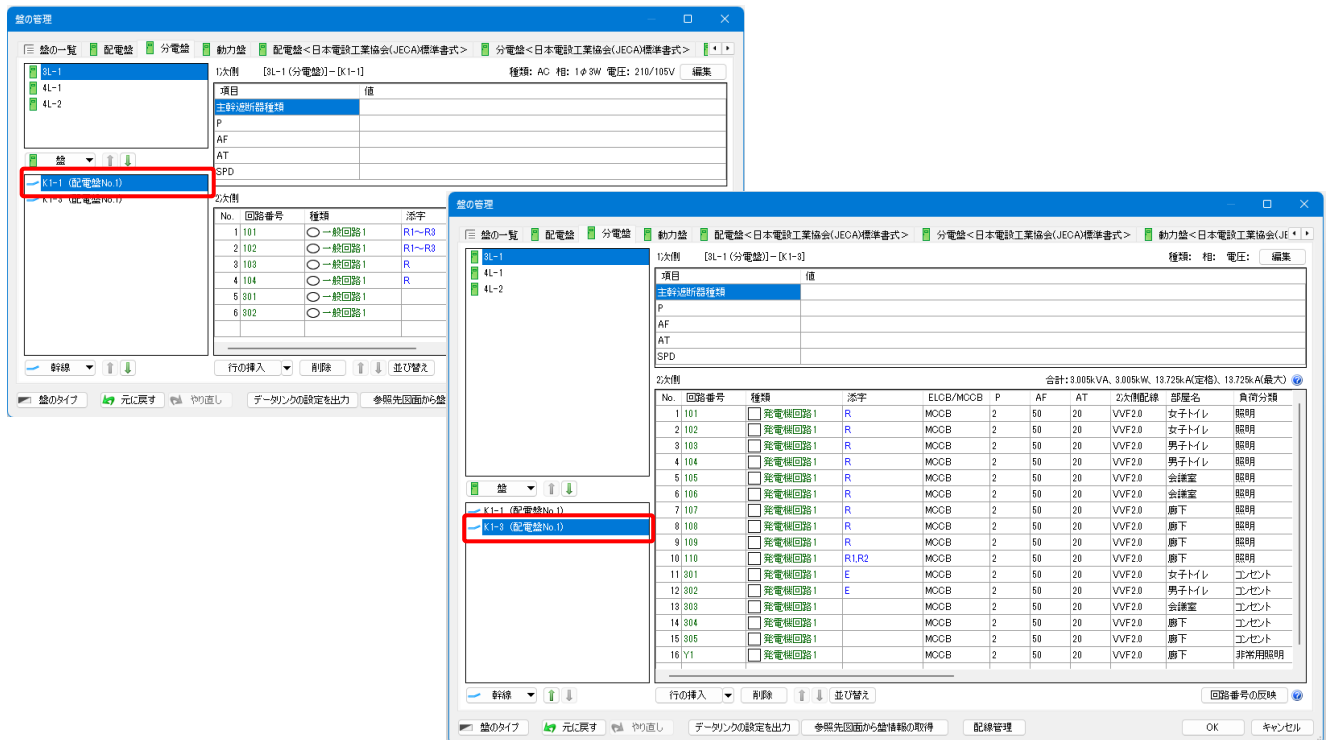
- 1 幹線番号「K1-1(配電盤No.1)」をクリックし、「発電機回路1」(7~22行目)を選択します。
- 2 [行の挿入]横の[▼]-[選択行を別の盤に移動]をクリックします。



- 3 [盤の選択]ダイアログで移動先の盤を指定します。
幹線番号「K1-3」に接続している「3L-1」を選択し、[OK]をクリックします。



→選択した回路が移動します。



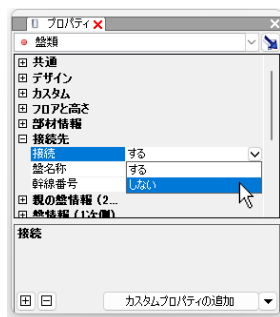
● 補足説明

仮定の盤から図面上の盤への回路の移動

仮定の盤の回路を図面上の盤に移行する場合も、[行の挿入]横の[▼]-[選択行を別の盤に移動]で回路を移動することができます。

[盤の管理]に表示しない盤

複数面の盤など、[盤の管理]で非表示にしたい盤がある場合は、盤のプロパティ[接続先]-[接続]を「しない」に変更します。接続先を一度「しない」に変更すると、その後「する」に戻しても分類は「未分類」となります。



回路番号の反映

[盤の管理]で修正した内容はダイアログを[OK]で閉じると、図面と[盤の管理]の情報が更新されます。

[盤の管理]の編集集中に情報を更新する場合は、[回路番号の反映]をクリックします。

例えば、同じ名称の盤が複数あり、同じ回路番号の設定をしている時、情報を変更した盤以外の同じ名称の盤にも変更した値が反映できます。

例)負荷容量の変更

①負荷容量を「40→50」に変更

②片方で数値を変更しても、もう片方の盤では変更した数値が反映されていません。

③クリック

④値が更新されます。

No.	回路番号	台数	kVA	VA (個印)	W	W (個印)	備考
1	101	4	0.04	50	0	0	
2	102	2	0.04	40	0	0	
3	103						

例)回路番号の変更

①回路番号を変更

②[はい]をクリックすると、図面上の該当の器具の回路番号を変更します。

③同じ盤名称、回路番号ですが、情報が更新されていません。

④クリック

⑤情報が更新されます。

No.	回路番号	台数	kVA	VA (個印)	W	W (個印)	備考
1	104	4	0.04	50	0	0	
2	102	2	0.04	40	0	0	
3	103						

外部参照図面の盤情報の取得

外部参照図面に配置されている盤は、「未分類」の盤として[盤の管理]に表示されます。

参照先で[盤の管理]の設定をしている場合、[参照先図面から盤情報の取得]より盤情報を取得できます。

参照先の「盤の分類」は「未分類」になります。
盤ごとに[編集]で分類の変更ができます。

チェックを入れると、分類を変更してから
情報を取得します。

外部参照図面で設定した[盤の管理]の
情報が反映されます。

Memo

参照先と参照元で「盤の分類」と「盤のタイプ」が同じ組み合わせの盤の情報を読み込みます。
参照元でない「盤のタイプ」が設定された盤や、参照先と参照元で同じ名称の「盤の分類」で「盤のタイプ」が異なる盤の情報は読み込むことができません。

No.	回路番号	種類	機器番号	ELCB/MCCB	P	AF	AT	2次側配線	部屋名
1	HEX-301-1	△ 動力回路1	HEX-301	MCCB	3	50	20	CV3.5	事務所
2	HEX-301-2	△ 動力回路1	HEX-301	MCCB	3	50	20	CV3.5	事務所
3	HEX-301-3	△ 動力回路1	HEX-301	MCCB	3	50	20	CV3.5	事務所
4	PAC-301-1	△ 動力回路1	PAC-301	MCCB	3	100	100	CV3.5	事務所
5	PAC-301-2	△ 動力回路1	PAC-301	MCCB	3	100	100	CV3.5	事務所
6	PAC-301-3	△ 動力回路1	PAC-301	MCCB	3	100	100	CV3.5	事務所
7	PAC-302-1	△ 動力回路1	PAC-302	MCCB	3	100	100	CV3.5	廊下
8	PAC-302-2	△ 動力回路1	PAC-302	MCCB	3	100	100	CV3.5	廊下
9	PAC-302-3	△ 動力回路1	PAC-302	MCCB	3	100	100	CV3.5	廊下

外部参照の詳細については、テクニカルガイド「[外部参照](#)」をご覧ください。

● 補足説明

[参照先図面から盤情報の取得]で[盤の分類が異なる場合、分類を変更する]のチェックが外れていると、参照元でない「盤の分類」が設定された盤や、参照先と参照元で盤名称が同じで「盤の分類」が異なる盤の情報は読み込みません。

チェックを入れると、参照先の「盤の分類」が参照元になく、「盤のタイプ」がある場合、「盤の分類」を作成します。また、参照先と参照元で盤名称が同じで、以下の条件に当てはまると参照先の情報に変更されます。

- ・参照先と参照元で「盤の分類」「盤のタイプ」がどちらも異なる場合
- ・参照先と参照元で「盤の分類」が異なり、「盤のタイプ」が同じ場合

2. 配線管理

[配線管理]コマンドでは、図面に作図されていない幹線や配線のケーブルの敷設情報の管理を行うことができます。[幹線]タブでは、[盤の管理]と連動し、幹線の長さを[配線管理]を使用して設定することができます。[配線]タブでは、ケーブルラックや電線管を作図する際に設定したケーブルの敷設情報を反映したり、[配線管理]上で直接ケーブルの敷設情報を設定することができます。これらの[配線管理]に設定した情報が、[拾い集計]にも反映されます。

[幹線]タブの設定

サンプル図面「サンプル事務所(配線管理_幹線).reb」レイアウト「幹線」を開きます。
[電気]タブ-[配線管理]をクリックし、[幹線]タブを表示します。

設定項目

[盤の管理]で設定した幹線の情報から該当の項目に値が反映されます。また、[配線管理]上で設定した値を[盤の管理]に反映します。

配電盤	幹線番号	系統	No	幹線種別	盤名	フロア	分類	幹線種類	幹線太さ	配管	敷設方法	始点要索	終点要索	経路	余長	長さ	負荷容量[V・VA]	負荷容量[W]	備考
配電盤 No.1	K1-1		K1-1-1	3L-1	FL		幹線(配線)	CVT	22		天井隠ぺい	(5073, 7650, 19300)	3L-1	ケーブルラック 800×100 ケーブル		22.1m	2.59kVA	2.59kW	
配電盤 No.1	K1-2		K1-2-1	3M-1	FL		幹線(配線)	CVT	22		天井隠ぺい	(5757, 7650, 19300)	(9050, 10233, 8905)	ケーブルラック 800×100 ケーブル		17.5m			
			K1-2-2	3M-2	FL		幹線(配線)	CVT	14		天井隠ぺい	(9050, 10233, 8900)	(22072, 14026, 8900)	ケーブルラック 800×100 (9050,		17.5m	4.05kVA	32.43kW	

項目名	入力する値
配電盤 幹線番号	[盤の管理]から自動取得
系統	[盤の管理]から自動取得 ※プルダウンで色の変更ができます。
No	幹線ごとの連番
幹線枝番号	幹線ごとの枝番号を自動設定、または手入力 ※[盤の管理]に反映します。
盤名称	[盤の管理]から自動取得
フロア	盤の基準フロアが反映
分類	配線のレイヤーから選択
幹線種類	手入力、または[Excelから読み込み]で入力
幹線太さ	※[盤の管理]に反映します。
配管	
敷設方法	[敷設方法]から選択
始点要素	経路の始点、終点位置となる要素または座標を指定 ※配電盤は幹線番号の始点要素に、分電盤、動力盤は幹線枝番号の終点要素に盤名称が自動取得されます。
終点要素	
経路	要素または座標を指定
余長	数値または計算式を入力 ※[長さ]に加算されます。(数値はmm単位)
長さ	始点要素、終点要素、経路から求めた長さを表示 ※長さの「直線で拾う」「直角で拾う」の選択で長さが変わります。 ※[盤の管理]の「巨長」に反映します。
負荷容量[kVA][kW]	[盤の管理]から自動取得
備考	手入力

値の編集

[分類][幹線種類][幹線太さ][配管][敷設方法][余長]は、手入力または値を選択します。
入力した内容は、[盤の管理]の該当する項目に反映します。

値を手入力または、選択します。
セルの値は、コピーや貼り付けが可能です。

● 補足説明

[Excelに保存]で[幹線]タブの内容をExcelファイルに出力できます。

また、[Excelから読み込み]で、Excelで編集した[幹線種類][幹線太さ][配管]の値を読み込むことができます。外部ツールでの幹線サイズの選定などで活用することができます。

[Excelに保存]をクリックしてファイルに出力します。

配線管理に反映する内容を入力して上書き保存します。

[Excelから読み込み]で、保存したファイルを読み込みます。

経路の設定

始点と終点の要素を設定

始点要素と終点要素を設定することで、各要素の基準点を結ぶ長さが[長さ]に表示されます。

[余長]に値を設定した場合は、[長さ]に加算され、[盤の管理]の[巨長]に反映します。

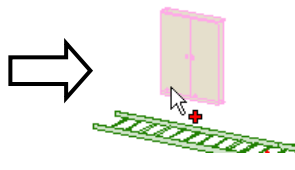
幹線	配線	幹線番号	系統	No	幹線枝番号	盤名称	フロア	分類	幹線種類	幹線太さ	配管	敷設方法	始点要素	終点要素	経路	余長	長さ	負容量(kVA)
配電盤	配電盤No.1	K1-1		1	K1-1-1	3L-1	3FL	幹線(配線)	CVT	22		天井隠ぺい	配電盤No.1	3L-1			14.4m	5.55kVA
				2														

幹線の長が表示されます。

Memo

スポットで図面上の機器または立上り/引下げ記号を選択できます。[+]で座標指定も可能です。

敷設方法	始点要素
天井隠ぺい	配電盤No.1



外部参照要素も対象となります。

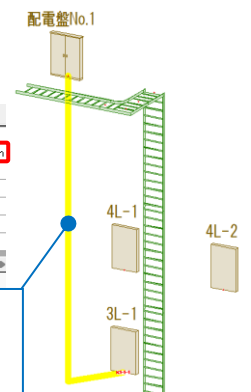
幹線の長さを「直線で拾う」または「直角で拾う」から選択できます。

切り替えることで[長さ]の値が変わります。

幹線	配線	幹線番号	系統	No	幹線枝番号	盤名称	フロア	分類	幹線種類	幹線太さ	配管	敷設方法	始点要素	終点要素	経路	余長	長さ
配電盤	配電盤No.1	K1-1		1	K1-1-1	3L-1	3FL	幹線(配線)	CVT	22		天井隠ぺい	配電盤No.1	3L-1			13.5m
				2													
				3													
				4													

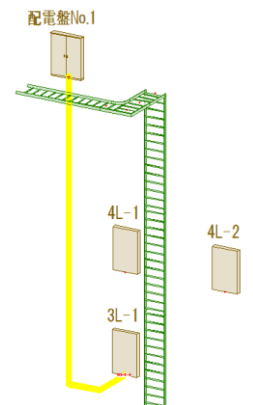
長さ 直線で拾う

指定した始点要素から終点要素までの軌跡(軌跡の表示方法についてはp.29参照)



幹線	配線	幹線番号	系統	No	幹線枝番号	盤名称	フロア	分類	幹線種類	幹線太さ	配管	敷設方法	始点要素	終点要素	経路	余長	長さ
配電盤	配電盤No.1	K1-1		1	K1-1-1	3L-1	3FL	幹線(配線)	CVT	22		天井隠ぺい	配電盤No.1	3L-1			14.4m
				2													
				3													
				4													

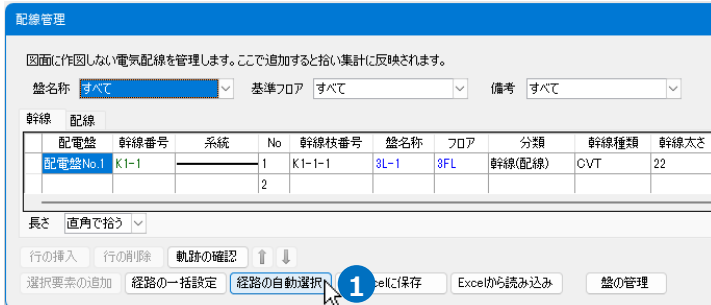
長さ 直角で拾う



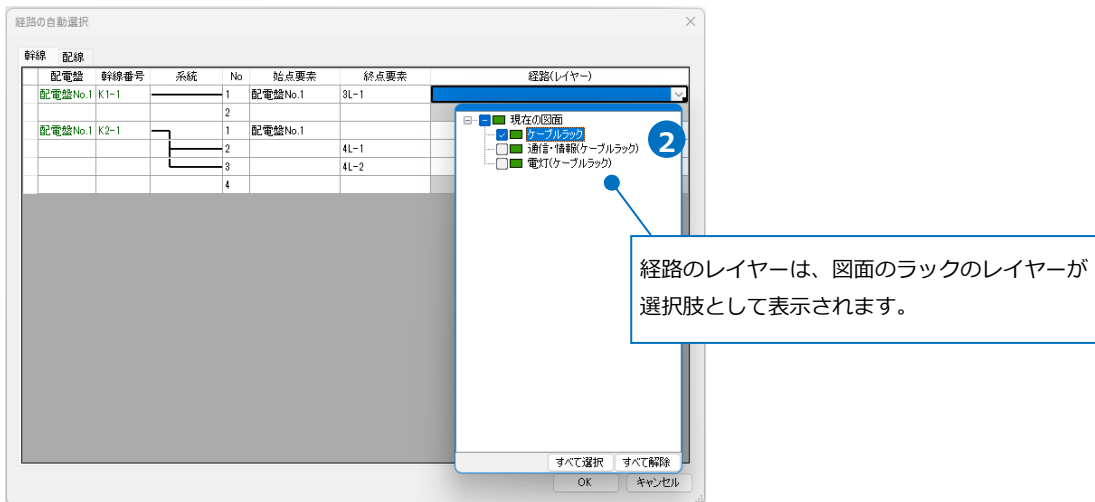
[経路の自動選択]で経路を編集

始点要素と終点要素の両方に図面上の要素が指定されている場合、[経路の自動選択]で経路を自動で設定できます。ここでは、図面上のケーブルラックのレイヤーを選択します。

1 [経路の自動選択]をクリックします。



2 [経路の自動選択]ダイアログで、幹線番号「K1-1」の行の[経路(レイヤー)]をクリックします。プルダウンから経由する要素のレイヤーを指定します。ここでは「ケーブルラック」を選択します。



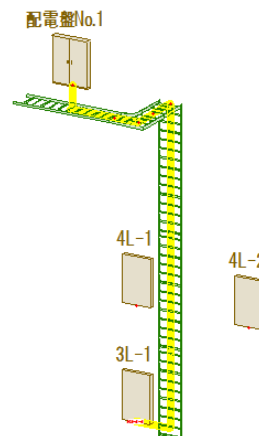
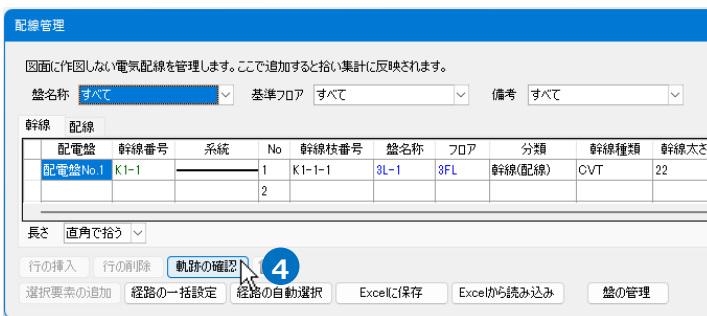
3 [OK]をクリックします。

→[配線管理]ダイアログの[経路]に指定した経路が表示され、[長さ]に経路から求めた長さが表示されます。

幹線	配線	配電盤	幹線番号	系統	No	幹線枝番号	盤名称	フロア	分類	幹線種類	幹線太さ	配管	敷設方法	始点要素	終点要素	経路	余長	長さ	負荷容量[VA]
配電盤No.1	K1-1			1	K1-1-1	3L-1	3FL	幹線(配線)	CVT	22			天井隠ぺい	配電盤No.1	3L-1	ケーブルラック 800×100 ケーブルラック 800×100...		17.2m	5.558kVA
				2															

4 [軌跡の確認]をクリックします。

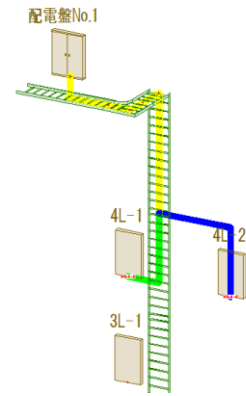
→自動で設定された経路の軌跡を確認できます。



座標を指定して経路を編集(途中で経路を変更)

ケーブルラックの途中から分岐して2つの盤につなぐ場合、経路を座標指定で設定します。

ここでは、配電盤No.1から分電盤4L-1、4L-2の分岐の経路を設定します。



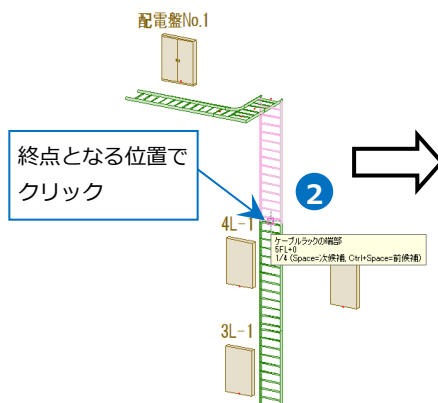
- 1 幹線番号「K2-1」の行「配電盤No.1」の[終点要素]の[+]をクリックします。

幹線	配線	配電盤	幹線番号	系統	No	幹線枝番号	盤名称	フロア	分類	幹線種類	幹線太さ	配管	敷設方法	始点要素	終点要素
		配電盤No.1	K1-1		1	K1-1-1	3L-1	3FL	幹線(配線)	CVT	22		天井隠ぺい	配電盤No.1	3L-1
		配電盤No.1	K2-1		1								天井隠ぺい	配電盤No.1	
					2	K2-1-1	4L-1	4FL	幹線(配線)	CVT	22		天井隠ぺい		4L-1
					3	K2-1-2	4L-2	4FL	幹線(配線)	CVT	14		天井隠ぺい		4L-2
					4										

- 2 配電盤No.1から分岐の開始位置をケーブルラック上で座標指定します。

→[終点要素]に指定した座標が表示され、[長さ]に始点要素、終点要素から求めた長さが表示されます。

始点要素	終点要素	経路	余長	長さ	負荷容量L
配電盤No.1	3L-1	ケーブルラック 800×100 ケーブルラック 800×100...		17.2m	5.555kVA
配電盤No.1 (6200, 10126, 15200)	4L-1			9.8m	2.584kVA
	4L-2			3.7m	3.006kVA



[終点要素]でケーブルラックの座標を指定した場合、次の幹線の始点要素に同じ座標が入力されます。

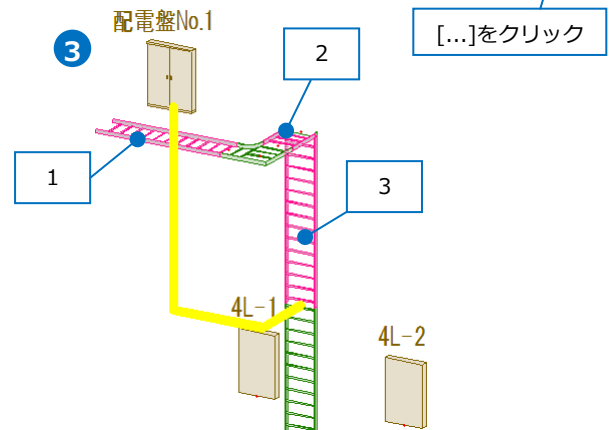
- 3 分岐までの経路を設定します。

[経路]の[...]をクリックし、リボンの「経路の追加(要素)」にチェックを入れます。

始点要素から分岐の開始位置までのケーブルラックを順番に選択します。

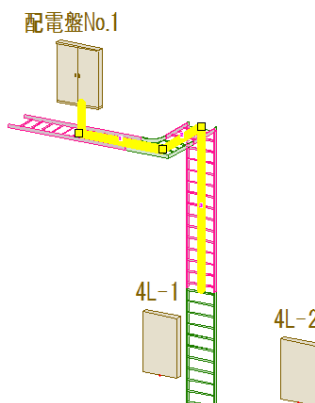
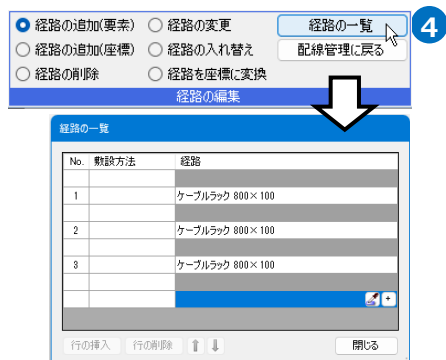
配電盤No.1	K2-1	系統	No	幹線枝番号	盤名称	フロア	分類	幹線種類	幹線太さ	配管	敷設方法	始点要素	終点要素
			1									配電盤No.1	(6200, 10126, 15200)
			2	K2-1-1	4L-1	4FL	幹線(配線)	CVT	22		天井隠ぺい	(6200, 10126, 15200)	4L-1
			3	K2-1-2	4L-2	4FL	幹線(配線)	CVT	14		天井隠ぺい	(6200, 10126, 15200)	4L-2

経路の追加(要素) 経路の変更 経路の一覧
 経路の追加(座標) 経路の入れ替え 配線管理に戻る
 経路の削除 経路を座標に変換
 経路の編集



4 Enterキーで確定すると、指定したケーブルラックの経路の軌跡が表示されます。

[経路の一覧]から、経路の内容を確認できます。



5 [配線管理に戻る]をクリックします。

→[配線管理]ダイアログの[経路]に指定した経路が表示され、設定した経路から求めた長さが表示されます。

敷設方法	始点要素	終点要素	経路	余長	長さ	負荷容量L...
天井隠べい	配電盤No.1	3L-1	ケーブルラック 800×100 ケーブルラック 800×		17.2m	5.55kVA
天井隠べい	配電盤No.1	(6200, 10126, 15200)	ケーブルラック 800×100 ケーブルラック 800...		9.6m	
天井隠べい	(6200, 10126, 15200)	4L-1			3.7m	2.584kVA
天井隠べい		4L-2				3.005kVA

6 幹線枝番号「K2-1-2」の始点要素を設定します。

幹線枝番号「K2-1-1」と同じ分岐の開始位置を指定するため、幹線枝番号「K2-1-1」の[始点要素]の座標をコピーして貼り付けます。

→[長さ]に幹線の長さが表示されます。

1						天井隠べい	配電盤No.1	(6200, 10126, 15200)			
2	K2-1-1	4L-1	4FL	幹線(配線)	CVT	22	天井隠べい	(6200, 10126, 15200)	4L-1		9.6m
3	K2-1-2	4L-2	4FL	幹線(配線)	CVT	14	天井隠べい	(6200, 10126, 15200)	4L-2		3.7m
4							天井隠べい	(6200, 10126, 15200)	4L-2		5.3m

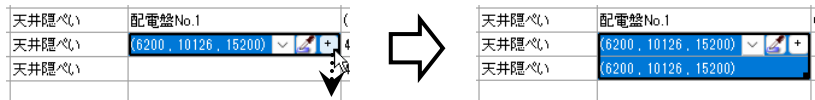
セルを選択して、Ctrl+「C」キーでコピー

セルを選択して、Ctrl+「V」キーでペースト

経路の長さが表示されます。

Memo

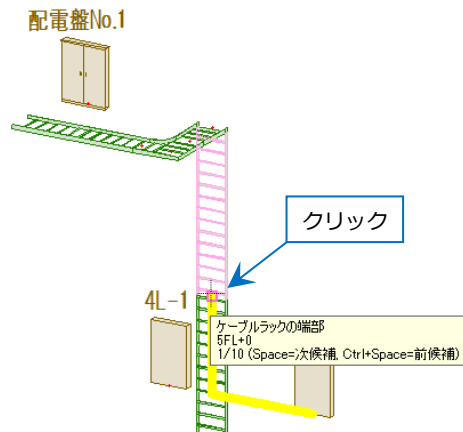
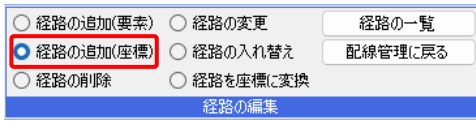
セルの右下の黒いハンドルをドラッグして数値をコピーすることもできます。



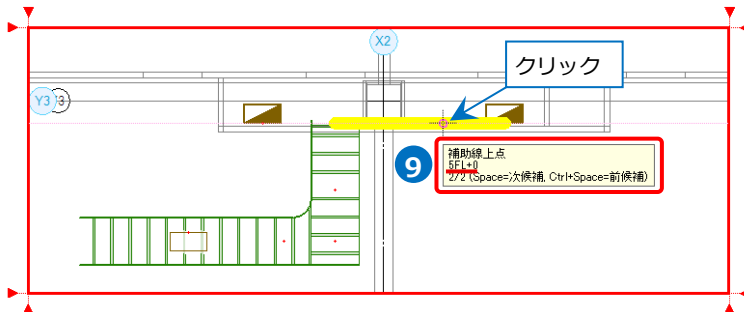
7 幹線枝番号「K2-1-2」の経路を指定します。「4L-2」の[経路]の[...]をクリックします。

天井隠べい	配電盤No.1	(6200, 10126, 15200)	ケーブルラック 800×100 ケーブルラック 800×
天井隠べい	(6200, 10126, 15200)	4L-1	
天井隠べい	(6200, 10126, 15200)	4L-2	

- 8 リボンの「経路の追加(座標)」にチェックを入れます。
分岐の開始位置で1点目をクリックします。

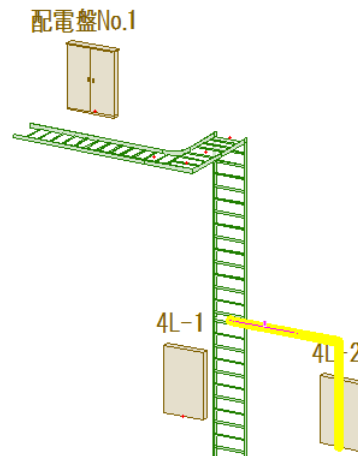
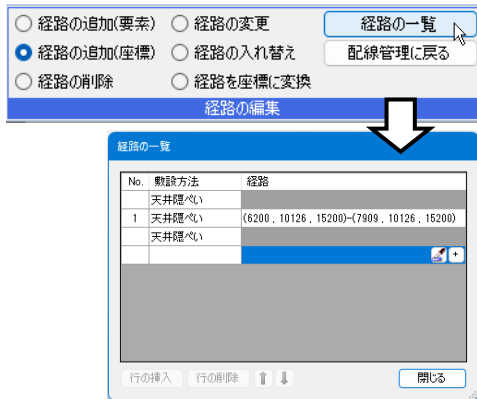


- 9 平面図上でラックと盤の間の[補助線上点]で2点目をクリックします。



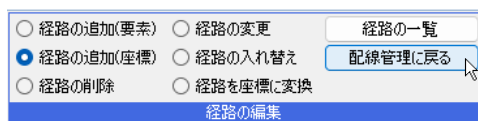
Memo
1点目で指定した高さ「5FL+0」の[補助線上点]を指定することで1点目の分岐と同じ高さの座標を指定することができます。
高さが異なる場合は、スペースキーで仮選択を切り替えます。

- 10 Enterキーで確定すると、指定したケーブルラックの経路の軌跡が表示されます。
[経路の一覧]から、経路の内容を確認できます。



- 11 [配線管理に戻る]をクリックします。

→[配線管理]ダイアログの[経路]に指定した経路が表示され、[長さ]に経路から求めた長さが表示されます。

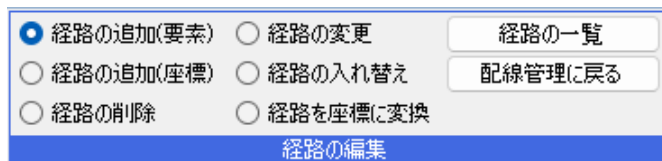


経路の内容が記入されます。

天井隠べい	配電盤No.1	(6200, 10126, 15200)	ケーブルラック 800×100 ケーブルラック 800×100...	9.6m	
天井隠べい		(6200, 10126, 15200)	4L-1	3.7m	2.584kVA
天井隠べい		(6200, 10126, 15200)	4L-2	5.3m	3.005kVA

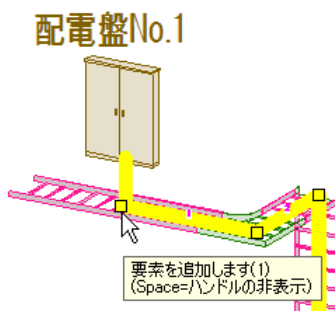
● 補足説明

[経路の編集]では経路の追加以外にも設定した経路の削除や変更などの編集が行えます。



「経路の追加(要素)」

要素を指定して経路を追加します。系統選択も可能です。
ハンドルで追加する位置を変更することもできます。



「経路の追加(座標)」

座標を指定して経路を追加します。
ハンドルで追加する位置を変更することもできます。

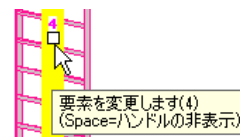
「経路の削除」

設定した経路上のハンドルをクリックして削除します。
ハンドルは左ドラッグで矩形範囲を選択できます。



「経路の変更」

変更する経路上のハンドルをクリックし、新たに要素または座標を指定します。



「経路の入れ替え」

入れ替える2つの経路上のハンドルをクリックします。



「経路を座標に変換」

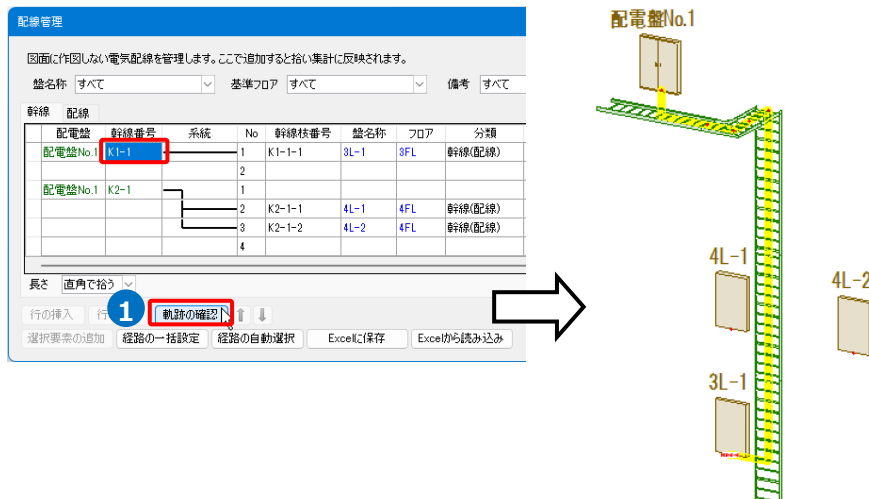
要素を選択して追加した経路を座標に変換します。
座標値に変更したい要素上のハンドルをクリックします。
ハンドルは左ドラッグで矩形範囲を選択できます。



軌跡の確認

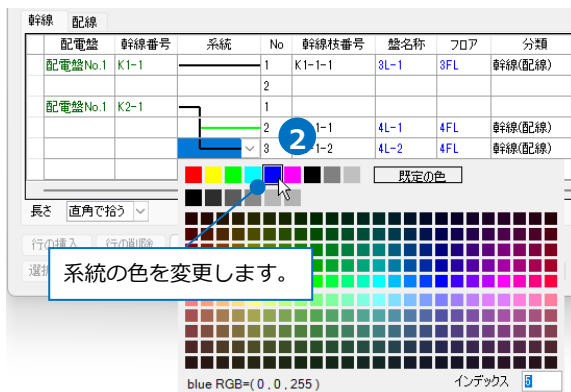
幹線の行、またはセルを指定して[軌跡の確認]をクリックすると、経路に色を付けて、状態を確認することができます。

- 1 幹線番号「K1-1」内のセルをクリックして[軌跡の確認]をクリックします。



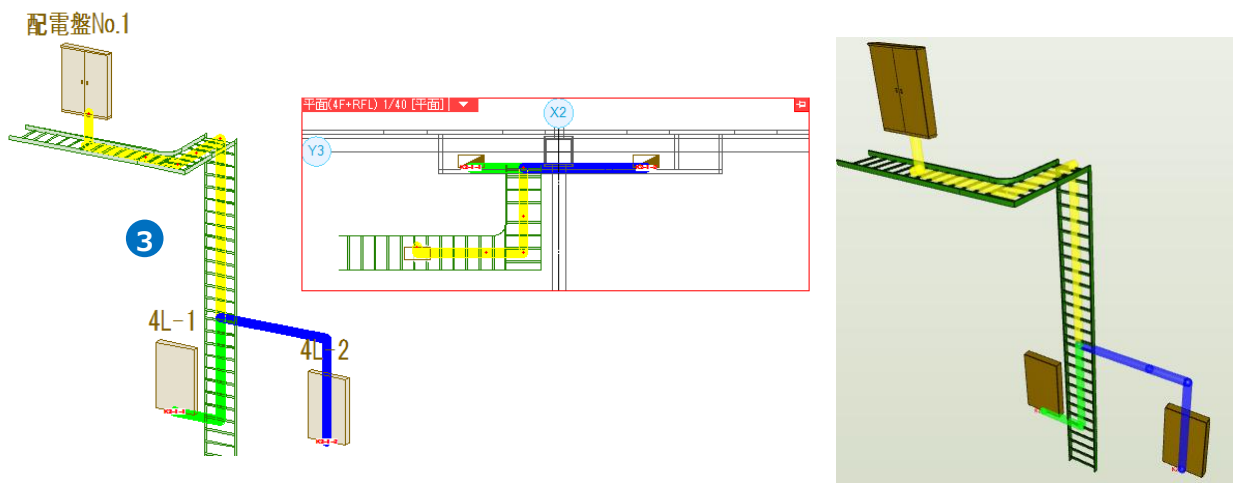
- 2 Enterキーを押します。

幹線番号「K2-1」の[系統]のセルをクリックし、色を選択します。



- 3 [軌跡の確認]をクリックします。

→指定した色で軌跡の確認ができます。



[配線]タブの設定

サンプル図面「サンプル事務所(配線管理_配線).reb」レイアウト「配線」を開きます。

[電気]タブ-[配線管理]をクリックし、[配線]タブを表示します。



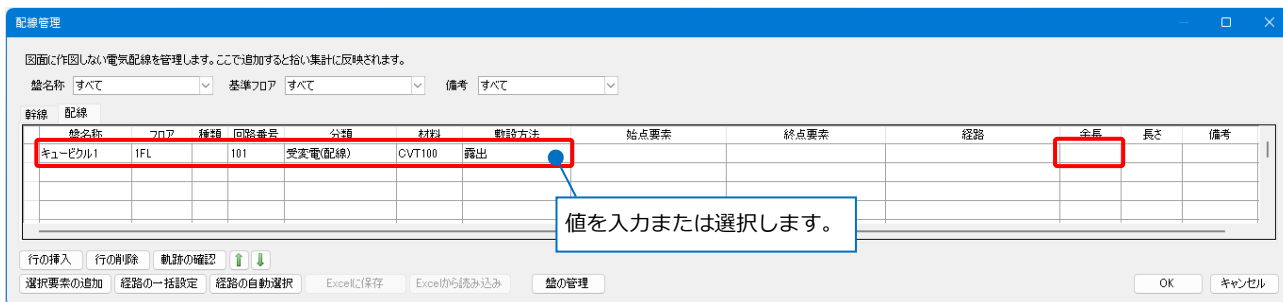
設定項目

ケーブルラックや電線管を作図する際にケーブルの敷設を設定して作図した場合(p.35 参照)は、材料など該当の項目に情報が反映されます。また、各項目に直接情報を入力し、作図済みのケーブルラックや電線管に後から敷設するケーブルの情報を設定することができます。

項目名	入力する値
盤名称	図面上にある盤の盤名称から選択、または手入力、終点要素から自動入力
フロア	フロアを選択、または終点要素から自動入力
種類	回路の種類を選択、または終点要素から自動入力
回路番号	手入力、または終点要素から自動入力 ※ラックや電線管にケーブルの敷設が設定されていた場合、自動入力されます。
分類	配線のレイヤーから選択 ※ラックや電線管にケーブルの敷設が設定されていた場合、自動入力されます。
材料	敷設方法、または配線の材料から選択 ※「材料」-[ケーブル]タブから選択した場合は、経路にケーブルラックまたは電線管を選択すると、それらのプロパティ情報に反映します。反対にラックまたは電線管にケーブルの敷設が設定されていた場合は、自動入力されます。
敷設方法	[敷設方法]から選択
始点要素	経路の始点、終点位置となる要素または座標を指定
終点要素	※ラックや電線管にケーブルの敷設が設定されていた場合、自動入力されます。
経路	要素または座標を指定 ※ラックや電線管にケーブルの敷設が設定されていた場合、自動入力されます。
余長	数値または計算式を入力 ※[長さ]に加算されます。(数値はmm単位)
長さ	始点要素、終点要素、経路から求めた長さを表示 ※拾い集計の設定で長さが変わります。(p.32補足説明参照)
備考	手入力

値の編集

[盤名称][フロア][種類][回路番号][分類][材料][敷設方法][余長]は、手入力または値を選択します。



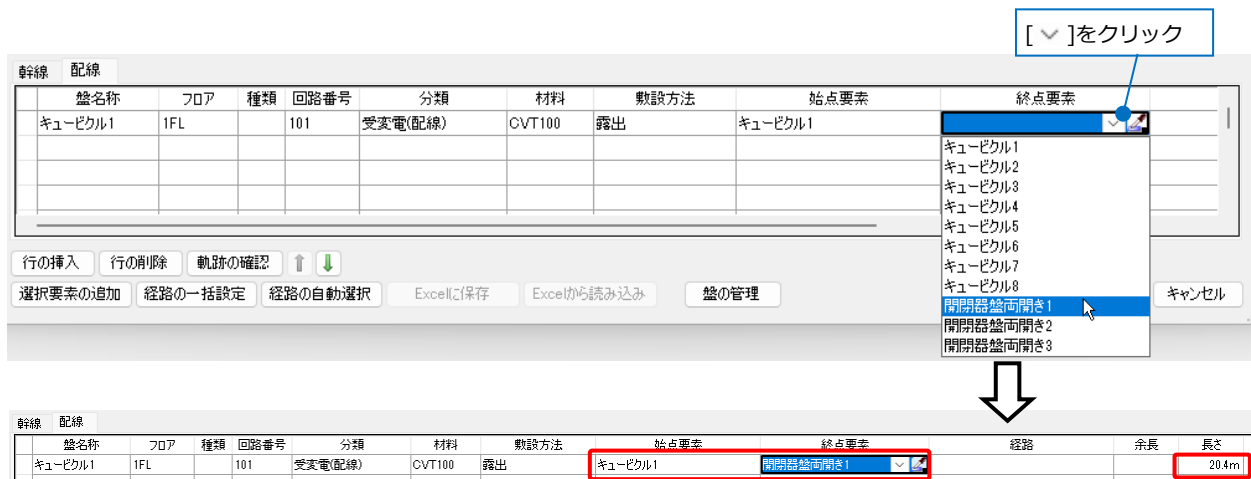
経路の設定

始点と終点の要素を設定

始点要素と終点要素を設定することで、各要素の基準点を結ぶ長さが[長さ]に表示されます。

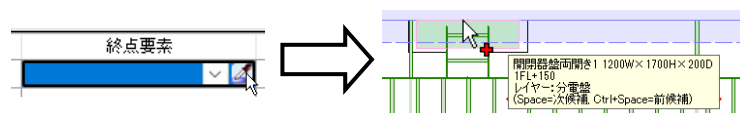
[余長]に値を設定した場合は、[長さ]に加算されます。

[始点要素]で「キュービクル1」、[終点要素]で「開閉器盤両開き1」を選択します。



Memo

スポットで図面上の機器または立上り/引下げ記号を選択できます。

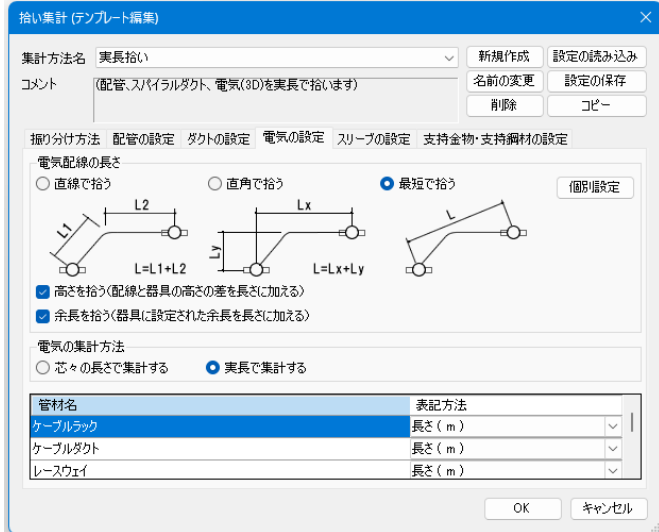


終点要素として選択した要素にプロパティ項目[接続先]の[盤名称][種類][回路番号]が設定されている場合、それぞれ自動で配線管理に反映します。

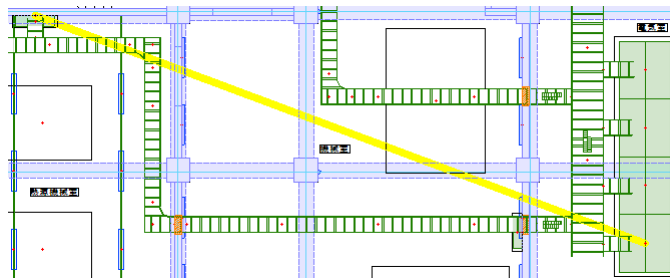
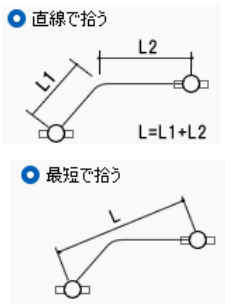
外部参照要素も対象となります。

● 補足説明

配線の長さは、[ツール]タブ-[拾い集計]の[拾い集計(テンプレート編集)]ダイアログの、[電気の設定]タブの設定が反映します。「直線で拾う」、「直角で拾う」、「最短で拾う」から切り替えることで[長さ]の値が変わります。

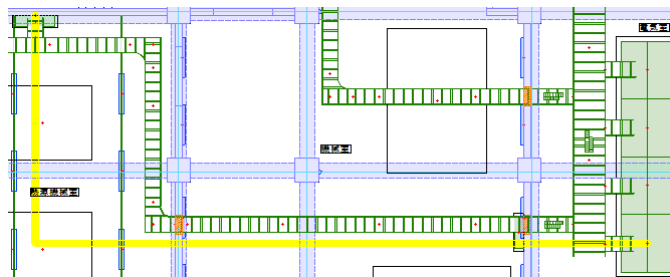
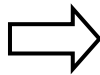
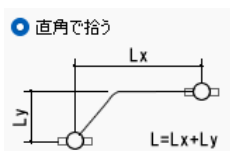


「直線で拾う」「最短で拾う」



盤名称	フロア	種類	回路番号	分類	材料	敷設方法	始点要素	終点要素	経路	余長	長さ
キュービクル1	1FL		101	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤面開き1			20.4m

「直角で拾う」



盤名称	フロア	種類	回路番号	分類	材料	敷設方法	始点要素	終点要素	経路	余長	長さ
キュービクル1	1FL		101	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤面開き1			26.2m

ルートを指定して経路を編集

始点と終点までの経路を図面上のケーブルラックなどのルートを指定して設定します。

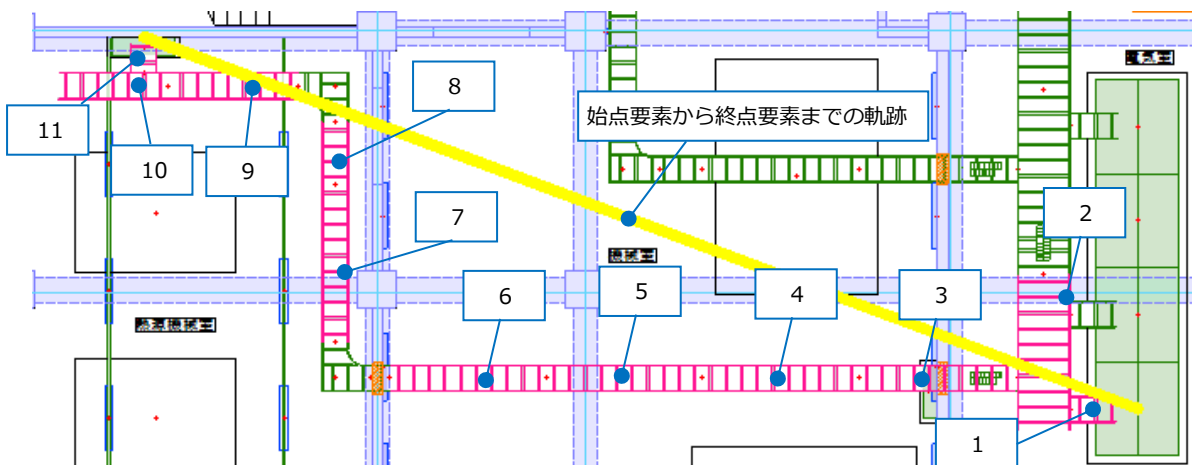
- 1 ルートを指定する行の[経路]の[...]をクリックします。

幹線		配線								
盤名称	フロア	種類	回路番号	分類	材料	敷設方法	始点要素	終点要素	経路	
キュービクル1	1FL		101	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤両開き1		

- 2 リボンの「経路の追加(要素)」にチェックを入れます。

図面内のキュービクルから開閉器盤両開きの付近までのケーブルラックを始点位置から順番に選択します。

経路の追加(要素) 経路の変更 経路の一覧
 経路の追加(座標) 経路の入れ替え 配線管理に戻る
 経路の削除 経路を座標に変換
 経路の編集



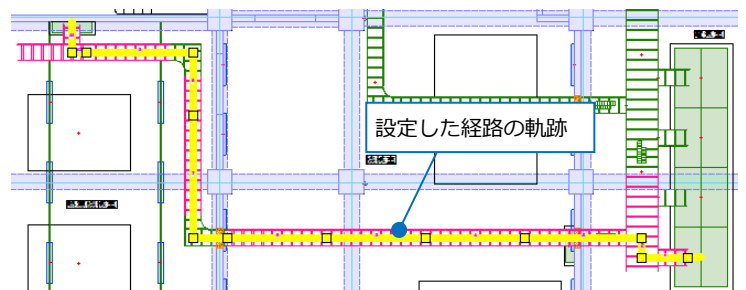
- 3 Enterキーで確定すると、指定したケーブルラックの経路の軌跡が表示されます。

[経路の一覧]から、経路の内容を確認できます。

経路の追加(要素) 経路の変更 経路の一覧
 経路の追加(座標) 経路の入れ替え 配線管理に戻る
 経路の削除 経路を座標に変換
 経路の編集

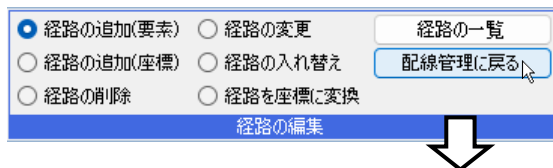
経路の一覧

No.	敷設方法	経路
1	天井隠ぺい	ケーブルラック 500×100
2	天井隠ぺい	ケーブルラック 1000×100
3	天井隠ぺい	ケーブルラック 500×100
4	天井隠ぺい	ケーブルラック 500×100
5	天井隠ぺい	ケーブルラック 500×100
6	天井隠ぺい	ケーブルラック 500×100
7	天井隠ぺい	ケーブルラック 500×100
8	天井隠ぺい	ケーブルラック 500×100
9	天井隠ぺい	ケーブルラック 500×100
10	天井隠ぺい	ケーブルラック 500×100
11	天井隠ぺい	ケーブルラック 500×100



4 [配線管理に戻る]をクリックします。

→[配線管理]ダイアログの[経路]に指定した経路が表示され、[長さ]に経路から求めた長さが表示されます。



幹線	配線	盤名称	フロア	種類	回路番号	分類	材料	敷設方法	起点要素	終点要素	経路	余長	長さ
		キュービクル1	IFL		101	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤両開き1	ケーブルラック 500×100 ケー...		32.2m

5 経路設定した行の左端の空白をクリックし、行全体を選択します。

セルの右端の黒いハンドルをドラッグして、配線の本数分行をコピーします。

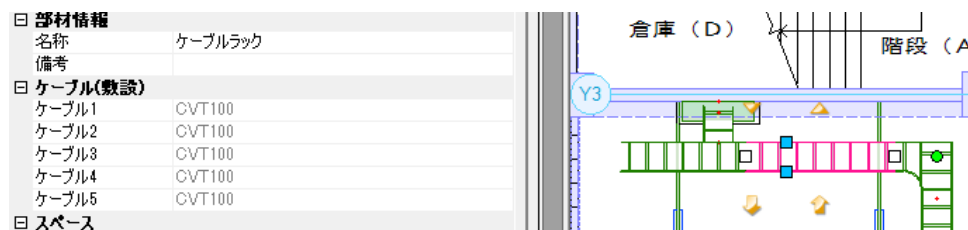
幹線	配線	盤名称	フロア	種類	回路番号	分類	材料	敷設方法	起点要素	終点要素	経路	余長	長さ	備考
		キュービクル1	IFL		101	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤両開き1	ケーブルラック 500×100 ケー...		32.2m	

幹線	配線	盤名称	フロア	種類	回路番号	分類	材料	敷設方法	起点要素	終点要素	経路	余長	長さ	備考
		キュービクル1	IFL		101	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤両開き1	ケーブルラック 500×100 ケー...		32.2m	
		キュービクル1	IFL		102	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤両開き1	ケーブルラック 500×100 ケー...		32.2m	
		キュービクル1	IFL		103	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤両開き1	ケーブルラック 500×100 ケー...		32.2m	
		キュービクル1	IFL		104	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤両開き1	ケーブルラック 500×100 ケー...		32.2m	
		キュービクル1	IFL		105	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤両開き1	ケーブルラック 500×100 ケー...		32.2m	

回路番号は連番になります。

6 [OK]をクリックします。

→経路に設定したケーブルラックのプロパティ項目[ケーブル(敷設)]に、設定したケーブルの情報(材料で「材料」-[ケーブル]タブから選択した材料名)が反映します。



Memo

配線の経路の指定をする際も、幹線と同様に経路の編集や、経路の自動選択が可能です。
p.24~28をご参照ください。

● 補足説明

ケーブルラックや電線管の作図時に敷設するケーブルを設定して作図できます。

サイズ 1000 × 100 計算
 桁の表現 Ⅱ Ⅲ Ⅳ カバー なし
 材料 その他 - ケーブルラック ケーブル(敷設) 0本
 作図方法 高さ

[選択]をクリック

ケーブルの追加
敷設するケーブルの材料を選択します。

複数のケーブルの設定や、回路番号を設定できます。

ケーブル材料を追加します。

ケーブルの選択

回路番号	ケーブル	外径
101	CVT100	41
102	CVT150	47
103	CVT200	55
104	CVT250	60
105	CVT325	66

追加 変更 削除

OK キャンセル

敷設するケーブルからケーブルラックの幅や電線管のサイズを計算できます。

サイズ 1000 × 100 計算
 桁の表現 Ⅱ Ⅲ Ⅳ カバー なし
 材料 その他 - ケーブルラック ケーブル(敷設) 5本
 作図方法

ケーブルラックや電線管のプロパティ項目[ケーブル(敷設)]に設定したケーブルの情報が表示されます。設定した内容は配線管理にも反映されます。

日 ケーブル(敷設)

ケーブル1	CVT100
ケーブル2	CVT150
ケーブル3	CVT200
ケーブル4	CVT250
ケーブル5	CVT325

日 スペース

配線管理

図面に作図しない電気配線を管理します。ここで追加すると拾い集計に反映されます。

盤名称 すべて 基準フロア すべて 備考 すべて

幹線	配線	盤名称	フロア	種類	回路番号	分類	材料	敷設方法	始点要素	終点要素	経路	余長	長さ
			1FL		101	電灯(配線)	CVT100				ケーブルラック 1000×100 ケーブル...		32.0m
			1FL		102	電灯(配線)	CVT150				ケーブルラック 1000×100 ケーブル...		32.0m
			1FL		103	電灯(配線)	CVT200				ケーブルラック 1000×100 ケーブル...		32.0m
			1FL		104	電灯(配線)	CVT250				ケーブルラック 1000×100 ケーブル...		32.0m
			1FL		105	電灯(配線)	CVT325				ケーブルラック 1000×100 ケーブル...		32.0m

行の挿入 行の削除 軌跡の確認

選択要素の追加 経路の一括設定 経路の自動選択 Excelに保存 Excelから読み込み 盤の管理

OK キャンセル

経路が設定された状態になります。

拾い集計の出力

[配線管理]に設定した情報は、[ツール]タブ-[拾い集計]の出力結果に反映します。

拾い集計について詳しくはテクニカルガイド「[拾い集計](#)」を参照ください。

配電盤	配線番号	系統	No	幹線枝番号	盤名称	フロア	分類	幹線種類	幹線太さ	配管	敷設方法	始点要素	終点要素	経路	余長	長さ	負荷容量[kVA]	負荷容量[kW]	備考		
配電盤No.1	K1-1		1	K1-1-1	3L-1	3FL	幹線(配線)	CVT	22		天井隠べい	配電盤No.1	3L-1		14.4m		5.555kVA	5.555kW			
配電盤No.1	K2-1		2	K2-1-1	4L-1	4FL	幹線(配線)	CVT	22		天井隠べい	配電盤No.1	(6200, 10126, 15200)	ケーブルラック 800×100 ...	9.6m		2.584kVA	2.584kW			
			3												K2-1-2	4L-2	4FL	幹線(配線)	CVT	14	
			4													5.3m					

長さ 直角で拾う

名称	規格	数量	単位	備考
配電盤No.1				
K1-1_01,K1-1-1				
天井隠べい				
平面	CVT22	3	m	
断面	CVT22	11.4	m	
余長	CVT22	0	m	
K2-1_02,K2-1-1				
天井隠べい				
平面	CVT22	1.2	m	
断面	CVT22	2.5	m	
余長	CVT22	0	m	
K2-1_03,K2-1-2				
天井隠べい				
平面	CVT14	2.8	m	
断面	CVT14	2.5	m	
余長	CVT14	0	m	
配電盤No.1				
K2-1_01				
天井隠べい				
平面	[未設定]	4.5	m	
断面	[未設定]	5.1	m	
余長	[未設定]	0	m	

盤名称	フロア	種類	回路番号	分類	材料	敷設方法	始点要素	終点要素	経路	余長	長さ
キュービクル1	1FL		101	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤(開き)	ケーブルラック 500×100 ケーブルラ...		32.2m
キュービクル1	1FL		102	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤(開き)	ケーブルラック 500×100 ケーブルラ...		32.2m
キュービクル1	1FL		103	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤(開き)	ケーブルラック 500×100 ケーブルラ...		32.2m
キュービクル1	1FL		104	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤(開き)	ケーブルラック 500×100 ケーブルラ...		32.2m
キュービクル1	1FL		105	受変電(配線)	CVT100	露出	キュービクル1	開閉器盤(開き)	ケーブルラック 500×100 ケーブルラ...		32.2m

名称	規格	数量	単位	備考
電気配線				
受変電(配線)				
キュービクル1				
101				
露出				
平面	CVT100	26.2	m	
断面	CVT100	6	m	
余長	CVT100	0	m	

Memo

拾い集計で「選択要素の範囲内で拾う」場合は、終点要素を含めて選択すると[配線管理]の配線が拾われます。

開始する

図面全体を拾う
 選択要素の範囲内で拾う
 外部参照ファイルを含む

開始

3. 盤図の出力

[盤の管理]-[データリンクの設定を出力]または、[データリンク]コマンドで、盤の種類ごとに[盤の管理]の内容を盤図として図面に貼り付けすることができます。

配電盤

分電盤

動力盤

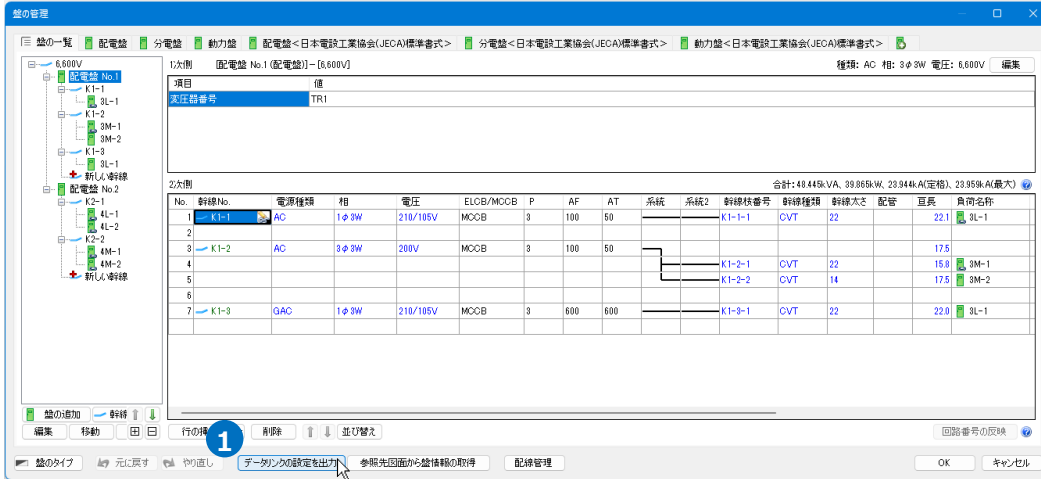
[盤の管理]から出力

図面で設定した[盤の管理]の情報を、盤図として出力するためのデータリンクの設定を自動生成します。表として貼り付けることで、レブロの[盤の管理]とリンクします。

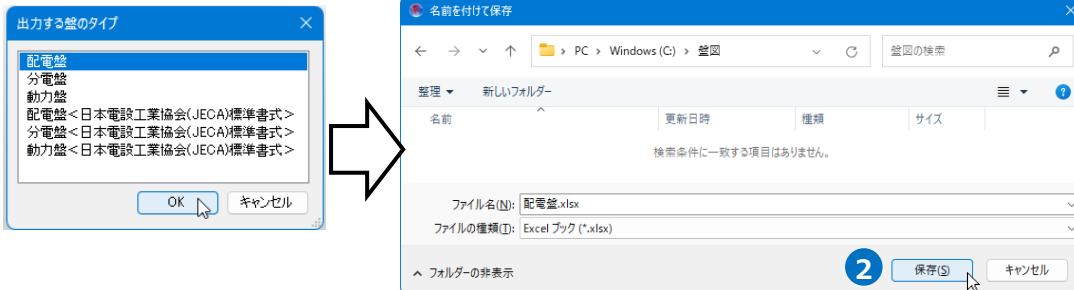
作成するファイルは、盤のタイプごとになります。

サンプル図面「サンプル事務所(盤図の出力).reb」を開きます。

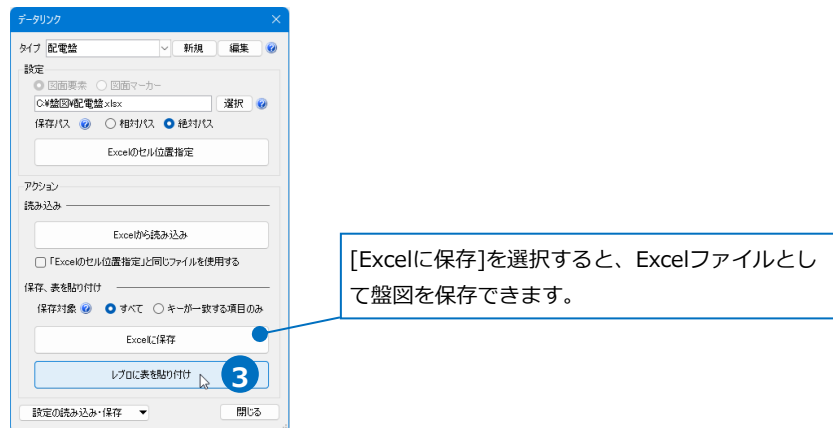
- 1 [電気]タブ-[盤の管理]をクリックします。
[盤の管理]ダイアログの[データリンクの設定を出力]をクリックします。



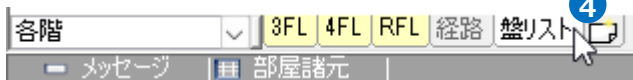
- 2 [出力する盤のタイプ]ダイアログで盤のタイプを選択し、[OK]をクリックします。データリンクで使用される盤図のフォーマットが入ったExcelファイルが自動で作成されるため、保存先を選択して[保存]をクリックします。



- 3 「データリンクの設定」が自動で作成され、[データリンク]ダイアログが開きます。[レブロに表を貼り付け]をクリックします。

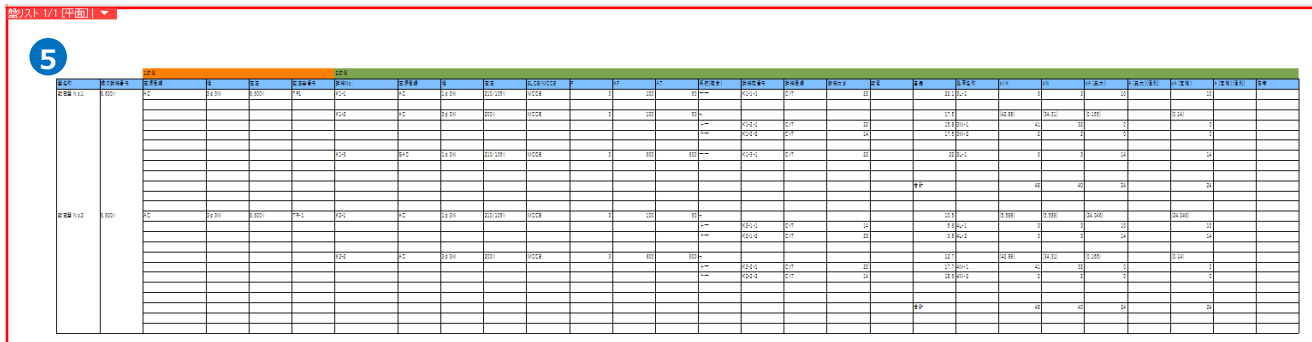


- 4 レイアウトを「盤リスト」に切り替えます。



- 5 表を貼り付ける位置でクリックします。

Excel側の設定を基に、[盤の管理]の情報を出力した表を図面に貼り付けます。



Memo

複数のシートが出力された場合、貼り付けたいシートを選択することができます。

配置後は、表のプロパティで貼り付けたシートを他のシートに変更することができます。

盤の分類と表の背景色、シートの選択ができます。

[データリンク]から出力

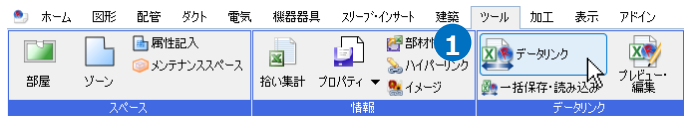
盤図のフォーマットをExcelで用意し、図面で設定した[盤の管理]の情報を図面上の「表」として貼り付けます。表として貼り付けることで、レブロの[盤の管理]とリンクします。

サンプル図面「サンプル事務所(盤図の出力).reb」を開きます。

レブロ要素とExcelファイルの関連付けの設定

出力対象とキーの設定

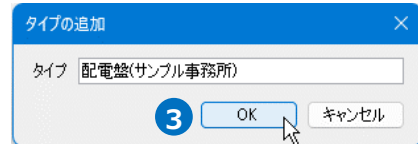
- 1 [ツール]タブ-[データリンク]をクリックします。



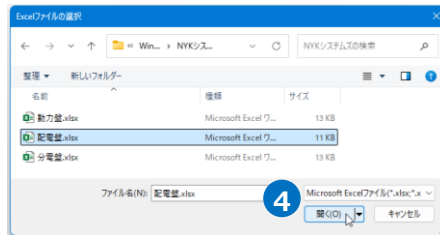
- 2 [データリンク]ダイアログが開きます。タイプの[新規]をクリックします。



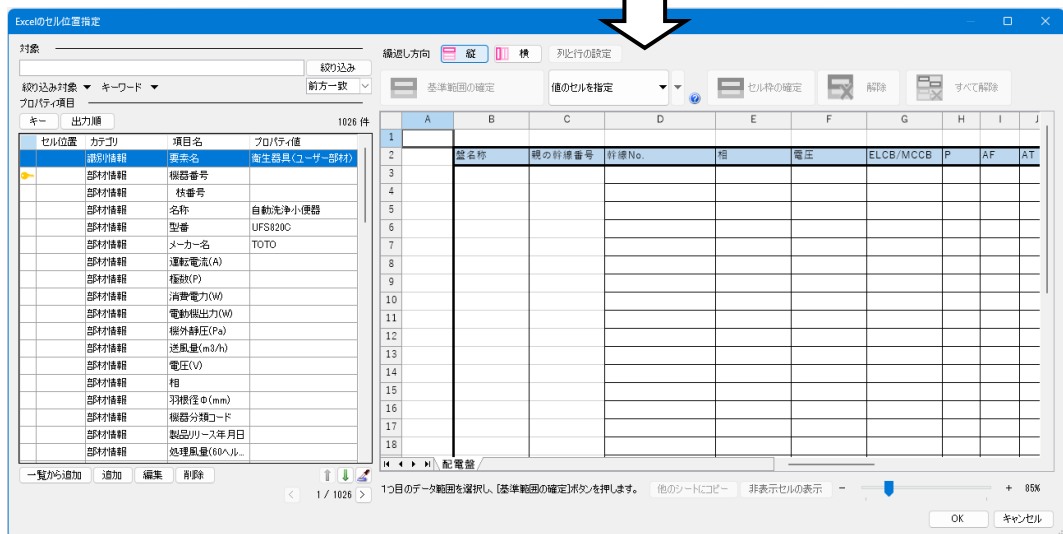
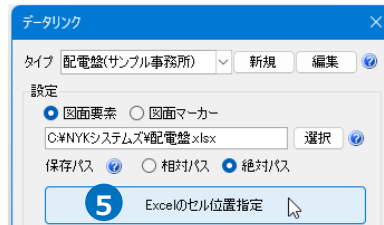
- 3 [タイプの追加]ダイアログが開きます。タイプ名を入力し、[OK]をクリックします。



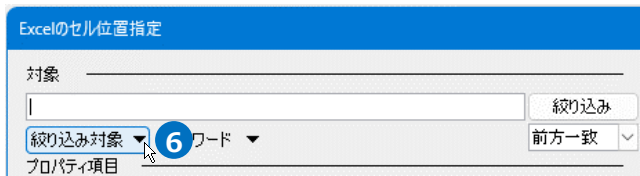
- 4 [Excelファイルの選択]ダイアログが開きます。データを読み込むExcelファイル「配電盤.xlsx」を選択し、[開く]をクリックします。



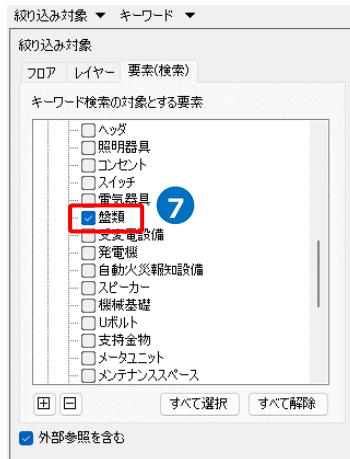
- 5 [Excelのセル位置指定]をクリックします。[Excelのセル位置指定]ダイアログが開き、選択したExcelファイルの内容が表示されます。



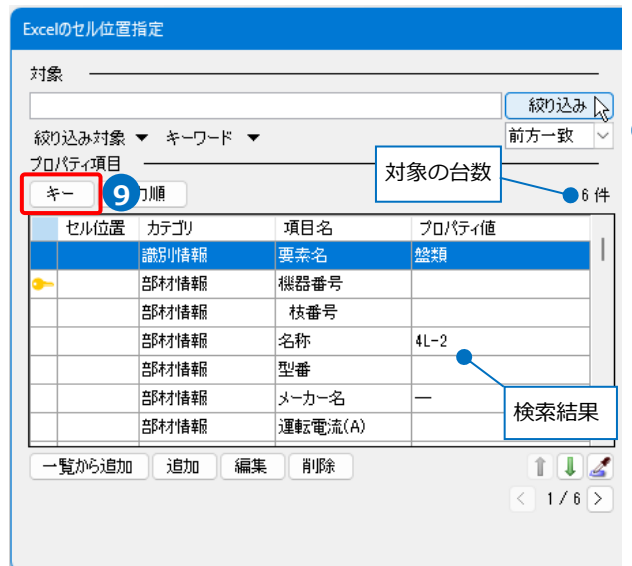
- 6 表として値を出力する対象要素を盤に絞り込みます。
[絞り込み対象]をクリックします。



- 7 [絞り込み対象]から[要素(検索)]タブの[機器・器具]-[盤類]にチェックを入れます。

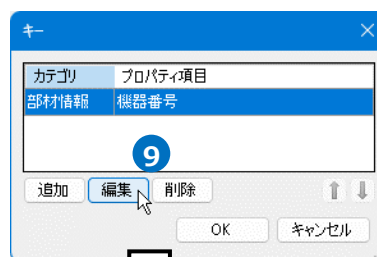


- 8 [絞り込み]をクリックします。
部材検索が実行され、絞り込み対象と合致した部材が検索結果に表示されます。
リストに表示された部材がデータリンクの対象となります。



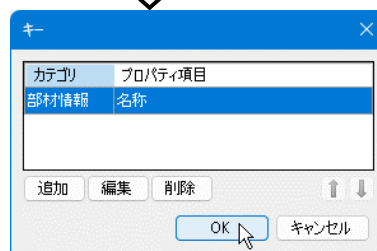
Memo
[盤の管理]で追加した仮想の盤は台数に含まれません。

- 9 [キー]をクリックし、[キー]ダイアログで[編集]をクリックし、レブロの配電盤の情報とExcelファイルを紐づけるプロパティ項目を選択します。
[カテゴリ]：部材情報
[プロパティ項目]：名称



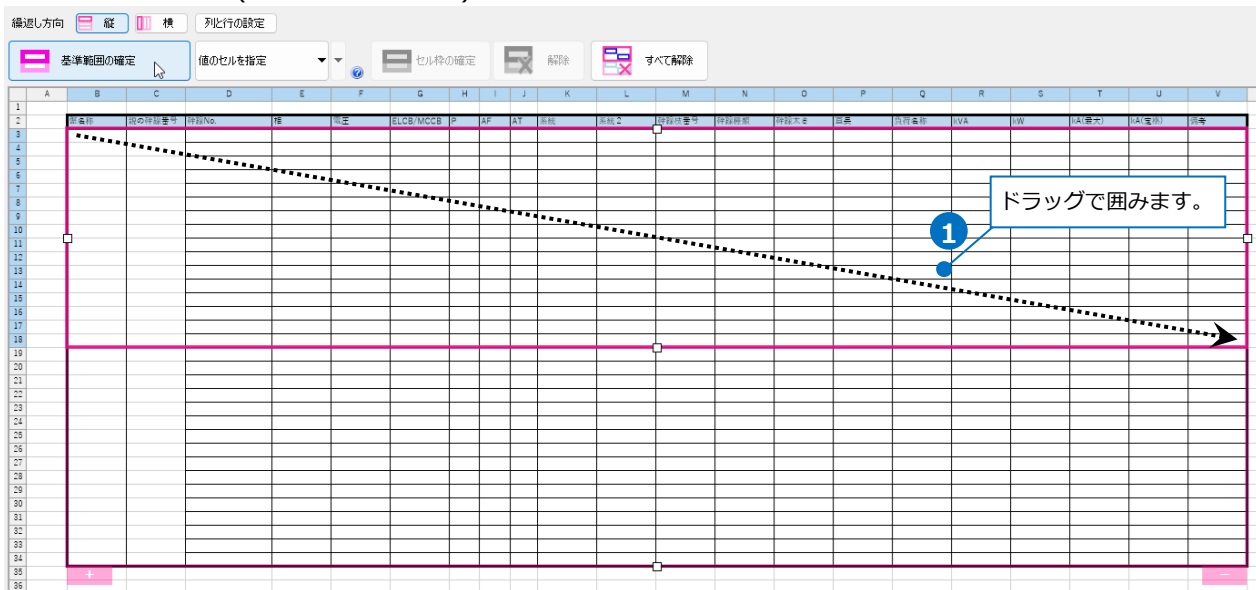
※盤名称と紐づけるため、必ず[部材情報]-[名称]を指定します。

Memo
キーに設定したプロパティ項目は、[プロパティ項目]の左端の列に[🔑]が表示されます。

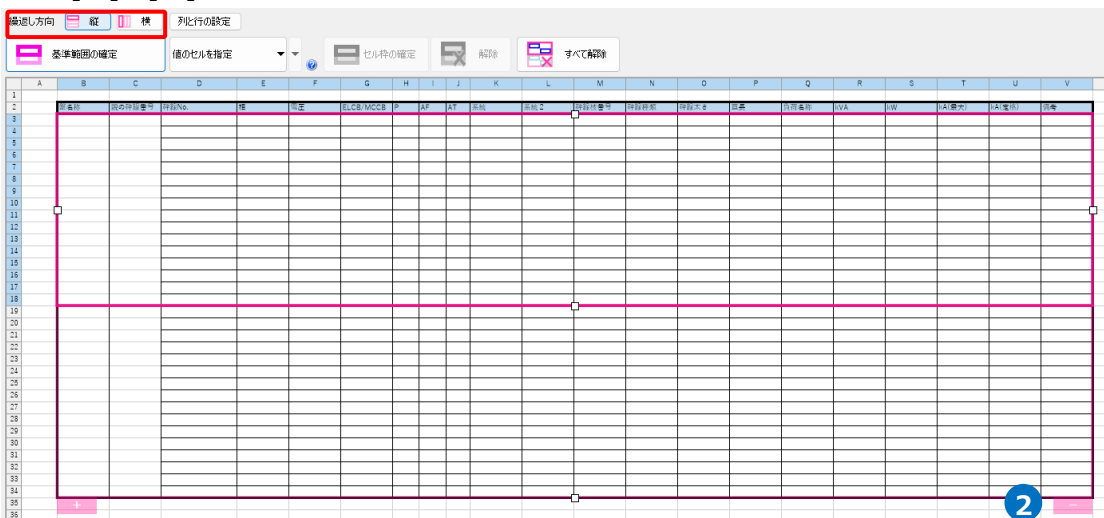


読み込む範囲の設定

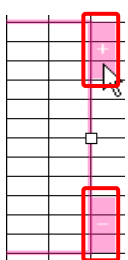
- Excelで1つ目の盤のデータに該当する範囲(B3~V18)を選択し、[基準範囲の確定]をクリックします。
基準となる範囲 (濃いピンク色の枠)が確定します。



- 1シート分に出力したいデータの繰り返し範囲(薄いピンク色の枠)をハンドルで指定します。繰り返し方向は、[縦]と[横]が選択できます。



Memo



連続していない位置に表の続きがある場合は、[+]をクリックすると、離れた位置に範囲を指定することができます。

[-]をクリックすると繰り返し範囲を削除できます。

- 補足説明

[Excelのセル位置指定]で指定した基準となる範囲に、[盤の管理]で設定した盤1つ分の値が出力されます。そのため、盤1つ分の情報が入るようにExcelの行数を指定します。

盤のタイプごとに出力するため、同じタイプの盤の中で一番行数の多いものに合わせると、各盤の情報が1シート内に収まります。

※負荷容量の合計や余白を出力する際は、設定した行数分必要になります。(p.47参照)

出力する項目を選択できます。
出力する項目数分の列数が少なくとも必要です。

「配電盤No.1」の情報は、
7行分必要です。

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELGB/MCCB	P	AF	AT	系統	系統2	幹線枝番号	幹線種類	幹線太さ	配管	互換	負荷名称	kVA	kW	kA (最大)	A (最大)
1	K1-1	AC	1φ 3W	210/105V	MCCB	3	100	50			K1-1-1	CVT	22		22.1	3L-1	2.55	2.55	10.073	
2																				
3	K1-2	AC	3φ 3W	200V	MCCB	3	100	50			K1-2-1	CVT	22		17.5	3M-1	42.89	34.31	0.155	
4											K1-2-2	CVT	14		17.5	3M-2	2.36	1.88	0.008	
5																				
6																				
7	K1-3	GAC	1φ 3W	210/105V	MCCB	3	600	600			K1-3-1	CVT	22		22.0	3L-1	3.005	3.005	13.725	

盤1つ分の情報が基準範囲に入りきらなかった場合は、2つ目の範囲に続けて出力されます。次の盤の情報は、3つ目の範囲から開始されます。

セルにプロパティ項目を割り当て

盤名称を出力するセルの指定

- 1 盤名称を出力するセルを指定します。
セルの指定方法は、「値のセルを指定」を選択します。



- 2 [プロパティ項目]でレプロの要素と関連付ける項目の行をクリックし、[セル位置]のスポイトアイコンをクリックします。
[カテゴリ]: 部材情報
[プロパティ項目]: 名称

セル位置	カテゴリ	項目名	プロパティ...
	識別情報	要素名	盤類
	部材情報	機器番号	
	部材情報	枝番号	
	部材情報	名称	4L-2
	部材情報	開閉機	

- 3 盤名称を出力するセル(B3)をクリックします。
→基準範囲内の選択したセルが青色枠で囲われます。
※繰り返し範囲を指定した場合は、相対位置が同じセルが水色枠で囲われます。

	A	B	C	D
1				
2		盤名称	親の幹線番号	幹線No
3				
4				

	B	C	D
1			
2	盤名称	親の幹線番号	幹線No
3			
4			

盤の項目を出力するセルの指定

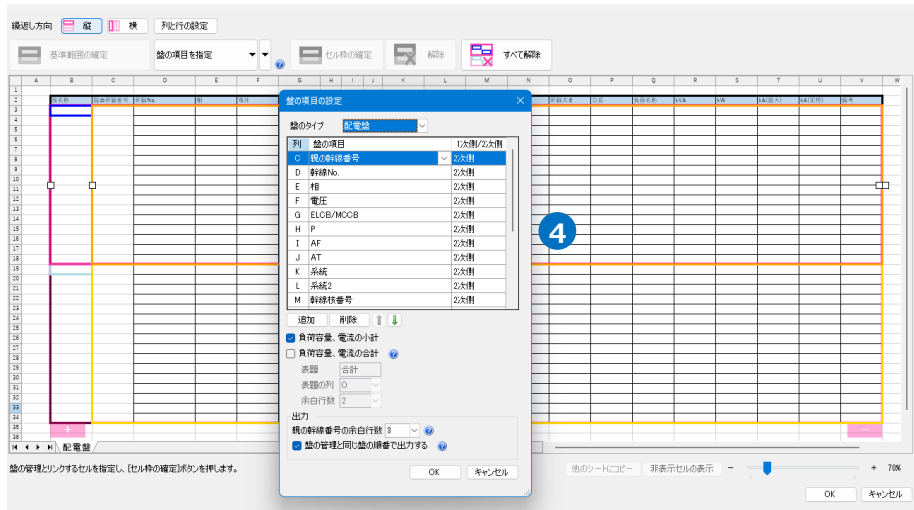
- 1 [盤の管理]の情報を入力します。
セルの指定方法は、「盤の項目を指定」を選択します。



- 2 情報を入力したい範囲(C3~V18)を選択します。

- 3 [セル枠の確定]をクリックします。

- 4 選択したセル枠が橙色で囲まれ、[盤の項目の設定]ダイアログが表示されます。
 ※繰り返し範囲を指定した場合は、相対位置が同じ範囲のセルが黄色枠で囲われます。



- 5 盤の項目を設定します。
 盤図として出力したい盤に割り当てられた[盤のタイプ]を選択します。(「盤のタイプ」についてはp.4参照)
 ここでは、「配電盤」を選択します。



- 6 列ごとにリンクする項目をプルダウンから選択します。



[盤のタイプ]で設定した項目タイプ
 タイプのタイトルから選択します。
 項目タイプ「幹線番号」を設定した盤のタイプの場合は、「幹線番号」「負荷名称」の選択が必須です。

- 7 設定が完了したら[OK]をクリックして、
 [盤の項目の設定]ダイアログを閉じます。

チェックを入れると、盤の負荷容量、電流の合計値を出力します。(p.47参照)。

合計: 48.44kVA, 39.86kW, 23.94kA(定格), 23.95kA(最大)

負荷名称	kVA	kW	kA (最大)	A (最大)(個別)	kA (定格)	A (定格)(個別)	備考
3L-1	2.55	2.55	10.079			10.079	
	(42.89)	(34.31)	(0.155)			(0.14)	
3M-1	40.53	32.43	0.147			0.132	
3M-2	2.36	1.88	0.008			0.008	
3L-1	3.005	3.005	13.725			13.725	

チェックを入れると、幹線ごとの負荷容量、電圧などの小計を出力します。

負荷名称	kVA	kW	kA (最大)	A (最大)(個別)	kA (定格)
3L-1	2.55	2.55	10.079	10.079	
	(42.89)	(34.31)	(0.155)	(0.14)	
3M-1	40.53	32.43	0.147	0.132	
3M-2	2.36	1.88	0.008	0.008	
3L-1	3.005	3.005	13.725	13.725	

Memo

[盤の項目の設定]ダイアログで指定した「盤のタイプ」が項目タイプ「回路の種類」を持つ場合、「回路番号(記号付き)」を定義すると、「回路の種類」の記号で回路番号が表示されます。(「レブロ」に表を貼り付けのみ)

列	盤の項目	1次側/2次側
L	回路番号(記号付き)	2次側
M	回路番号	1次側

→

回路番号
(101)
(102)
(103)

No	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	系統	系統2	幹線伏番号	幹線種類	幹線太さ	長さ	負荷名称	kVA	kW	kA(最大)	A(最大)(部D)	kA(定格)	A(定格)(部D)	備考
1	K1-1	AC	1φ3W	210/105V	MCCB	3	100	50			K1-1-1	CVT	22	22.1	3L-1	2.550	2.550	10.079		10.079		

No	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	系統	系統2	幹線伏番号	幹線種類	幹線太さ	長さ	負荷名称	kVA	kW	kA(最大)	A(最大)(部D)	kA(定格)	A(定格)(部D)	備考
1	K1-1	AC	1φ3W	210/105V	MCCB	3	100	50			K1-1-1	CVT	22	22.1	3L-1	2.55	2.55	10.079		10.079		

Memo

[盤のタイプ]で設定した項目タイプの他に「親の幹線番号」「系統(結合)」を選択することができます。
「親の幹線番号」は盤名称ごと、親の幹線番号ごとに出力することができます。

盤の項目の設定

盤のタイプ 分電盤

列	盤の項目	1次側/2次側
C	親の幹線番号	2次側
D	なし	

盤の一覧

- 3L-1
- 4L-1
- 4L-2

項目

- K1-1 (配電盤 No.1)
- K1-3 (配電盤 No.1)

盤名称	親の幹線番号	回路番号	添字	ELCB/A
3L-1	K1-1	101	R1~3	MCCB
		102	R1~3	MCCB
		103	R	MCCB
		104	R	MCCB
		301		MCCB
302		MCCB		
K1-3		101	R	MCCB
		102	R	MCCB

「系統(結合)」は、幹線と2次側の盤のつながりの線を表示します。

盤の項目の設定

盤のタイプ 配電盤

列	盤の項目	1次側/2次側
C	親の幹線番号	2次側
D	幹線No.	2次側
E	系統(結合)	2次側

盤名称	親の幹線番号	幹線No.	系統(結合)
配電盤 No.1	6.600V	K1-1	
		K1-2	

8 セル枠をすべて設定後、[OK]をクリックします。

[データリンク]ダイアログに戻ります。

データリンク

タイプ 配電盤(サンプル事務所) 新規 編集

設定

図面要素 図面マーカー

C:\NNYKシステムズ\配電盤.xlsx 選択

保存/パス 相対パス 絶対パス

Excelセル位置指定

アクション

読み込み

Excelから読み込み

「Excelセル位置指定」と同じファイルを使用する

保存、表を貼り付け

保存対象 すべて キーが一致する項目のみ

Excelに保存

レボロに表を貼り付け

設定の読み込み・保存 閉じる

Memo

再度出力する対象の要素を絞り込む場合は、[Excelのセル位置指定]で「盤の項目を指定」のセルを[解除]します。

盤の項目を指定

セル枠の確定

解除

設定した内容を変更する場合は、「盤の項目を指定」横の [▼]から[盤の項目の設定]で変更することができます。

盤の項目を指定

盤の項目の設定

● 補足説明

負荷容量の合計と親の幹線番号の余白行数

[負荷容量、電流の合計]にチェックを入れると、盤ごとの負荷容量、電流の合計値を表に出力することができます。([盤の項目]で「親の幹線番号」を指定した時は、幹線番号ごとに出力することができます。)

[表題]：合計値を出力する際のタイトルを設定することができます。

[表題の列]：[表題]で設定したタイトルを出力する列を指定します。

[余白行数]：1つ目の情報から指定した行数分の空白行を作って合計値を出力します。

[親の幹線番号の余白行数]は、[盤の項目の設定]で「親の幹線番号」を指定した時に設定します。

2つ目の幹線の情報を出力する際に、1つ目の情報の後に指定した余白行数分の空白行を作って出力します。

The image shows two screenshots of a software interface. The left screenshot, titled '盤の項目の設定', shows a list of items with checkboxes for '負荷容量、電流の小計' and '負荷容量、電流の合計'. The right screenshot, titled '盤の管理', shows a table of items with columns for 'No.', '回路番号', and '種類'. Red boxes highlight specific settings and data points in both screenshots.

盤名称	親の幹線番号	回路番号	種類	電圧	電流	電圧	電流	電圧	電流	電圧	電流	電圧	電流	電圧	電流	電圧	電流	電圧	電流			
K1-1	K1-1	101	R3	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	12	488									
		102	R1-R3	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LED増広天井灯(カバー付き)	12	488									
		103	R	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LED増広天井灯(カバー付き)	6	204									
		104	R	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LED増広天井灯(カバー付き)	7	280									
		301	R	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LED増広天井灯(カバー付き)	4	160									
		合計									2550	3550							10079	10079		
K1-3	K1-3	101	R	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	8	272	84	272	84	1	100	1896	242	1896	242
		102	R	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	2	74	37	74	37	1	100	484	242	484	242
		103	R	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	6	204	84	204	84	1	100	1452	242	1452	242
		104	R	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	1	37	37	37	37	1	100	242	242	242	242
		105	R	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	6	204	84	204	84	1	100	1452	242	1452	242
		106	R	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	3	102	84	102	84	1	100	726	242	726	242
		107	R	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	7	238	84	238	84	1	100	1694	242	1694	242
		108	R	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	2	88	84	88	84	1	100	484	242	484	242
		109	R	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	2	88	84	88	84	1	100	484	242	484	242
		110	R1,R2	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	12	488									
		301	E	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	5	180									
302	E	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	3	108											
303	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	2	74												
304	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	2	74												
305	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	1	37												
VI	MCCB	2	50	20	VVF2.0	電機	照明	LEDダウンライト	1	37												
		合計									3005	3005							13726	13726		

(参考)表の更新

[盤の管理]と[データリンク]で貼り付けた表はリンクします。

[盤の管理]で値が変われば、貼り付けた表の情報が変わり、表の[文字編集]を行うと[盤の管理]の項目の値が更新されます。

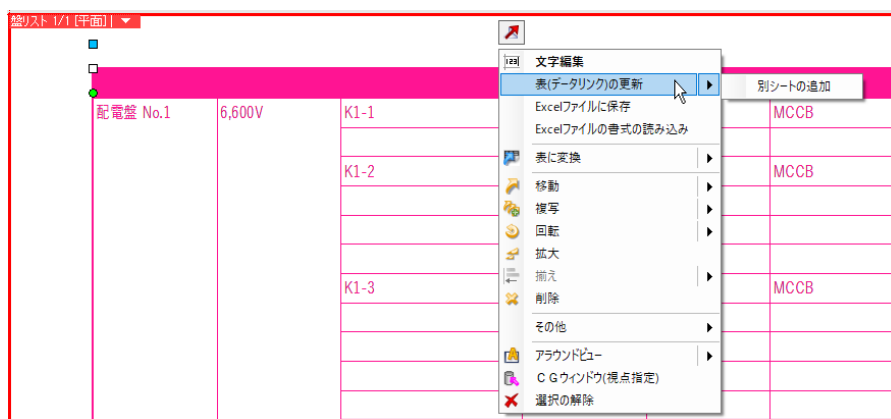
表の値を変更した時の[盤の管理]の値は、p.5~6「項目タイプ」の各タイプで手入力した時と基本的には同じです。そのため、手入力に対応していない「台数」や入力できる文字が制限されている項目については、表の[文字編集]でも制限があります。

データリンクのキーとなる「盤名称」と「親の幹線番号」は表で編集することはできません。

また、[配線管理]に連動する値は、「亘長」以外は[盤の管理][配線管理]も更新されます。

表の更新で反映される項目については、次ページをご参照ください。

[盤の管理]で表に出力する盤の増減があった場合は、貼り付けた表のコンテキストメニューから[表(データリンク)の更新]をします。



表の更新に伴うデータの更新 ((※)のある項目は入力できる文字に制限があります。)

項目タイプ	[盤の管理] [配線管理]	図面上の 器具	制限事項や[盤の管理]で編集した時との違い
自由文字列	○	×	
幹線番号[キー]	○	×	変更前の幹線番号は、[盤の一覧]タブのツリー上で一番親の幹線番号と同階層に移動します。
回路の種類[キー]	○(※)	○	図面の[回路の種類]と同じ名称のみ入力可能。
回路番号[キー]			
回路番号の添字(個別) [キー]	○	○	
回路番号の添字(結合)	×	×	
機器番号	○	×	[盤の管理]ダイアログ上のみ変更します。
負荷名称	○	×	[盤のタイプ]で項目タイプ「幹線番号」を設定した盤については、変更前の名称の盤は、ツリー上で一番親の幹線番号の下に移動します。
型番	○	×	[盤の管理]ダイアログ上のみ変更します。
電源種類(1次側)			
電圧[V](1次側)	○	○	
相(1次側)			
電源種類(2次側)	×	×	
電圧[V](2次側)	○(※)	○	数値のみ入力できます。 項目タイプに「幹線番号」が設定されている場合は編集不可
相(2次側)	○(※)	○	項目タイプに「幹線番号」が設定されている場合は編集不可
系統(配線管理)	×	×	
幹線枝番号(配線管理)			
幹線種類(配線管理)	○	-	[配線管理]に反映します。
幹線太さ(配線管理)			
配管(配線管理)			
巨長(配線管理)	×	-	
運転時の定格/ 最大電流(合計)	○(※)	×	数値のみ入力できます。 [盤の管理]ダイアログ上の表示用の値に上書きされます。
負荷容量(合計)			
運転時の定格/ 最大電流(個別)			
負荷容量(個別)	○	○	※「幹線番号(キー)」を設定している盤のタイプは入力不可
始動方式_工事区分			
始動方式			
台数			
親の幹線番号	×	×	

1次側の盤の情報は、編集した内容がすべて反映されます。